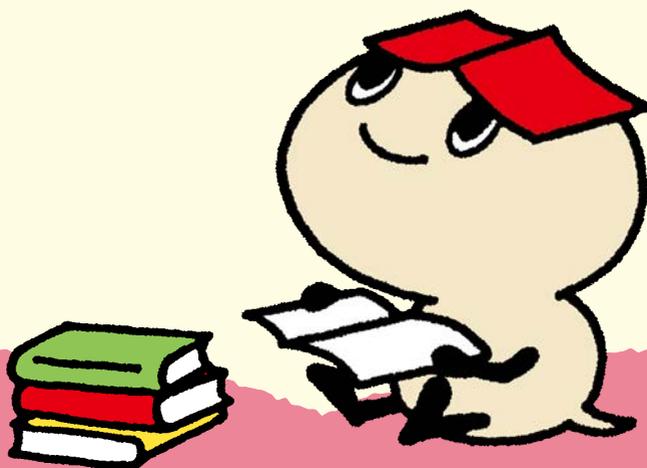


第4回

お気に入りの一冊を
あなたへ

読書推せん文コンクール



令和6(2024)年度
入賞作品集

第4回

お気に入りの一冊を
あなたへ

読書推せん文コンクール

令和6(2024)年度
入賞作品集

公益財団法人 博報堂教育財団

Hakuhodo Foundation

目次

ごあいさつ	公益財団法人博報堂教育財団 理事長 戸田裕一	4
選考委員からのメッセージ		6
個人賞入賞作	■ 小学校1～3年生の部	11
個人賞入賞作	■ 小学校4～6年生の部	37
個人賞入賞作	■ 中学生の部	71
団体賞	入賞団体一覧	140
個人賞	入賞者一覧	142
コンクール概要と応募総数		144

公益財団法人博報堂教育財団は、1970年に設立され、2011年に公益認定を受けました。設立以来、「子ども」「ことば」「教育」をテーマに、子どもたちが「ことば」を通じて、感じ、考え、表現する力を育む活動を続けてまいりました。

第4回を迎えた「お気に入りの一冊をあなたへ 読書推せん文コンクール」ですが、前回は上回る3万7000を超える作品のご応募をいただきました。団体応募数も500団体を超え、読書の輪が年々広がっていることを実感し、大変嬉しく思っています。子どもたちの読書離れが進んでいるとよく言われますが、小中学生に関しては、20年前と比較して読書量が増加傾向にあるというデータもあります。それを裏付けるかのように、当コンクールの応募作

品は、どれも読書が大好きな気持ちで溢れていました。

その応募作品の中から、選考会において、特に素晴らしいと評された作品を入賞作品とさせていただきます。この入賞作品集には、すすめたい相手に対する熱い想いや新たな発見がたくさん詰まっています。これらの作品に触れることが、皆さまにとって更なる読書のきっかけとなり、心豊かな時間になることを心より願っております。

最後に、応募してくださった小中学生の皆さん、ありがとうございました。そして、ご指導いただいた先生方や保護者の皆さま、教育関係者の皆さま、ご支援いただいた団体の皆さまなど、ご協力いただいたすべての方々に、心より感謝申し上げます。また、選考委員の皆さまには、多大なご尽力を賜り、深く御礼申し上げます。

「お気に入りの一冊をあなたへ 読書推せん文コンクール」は、2025年度も開催いたします。多くの皆さんからのご応募をお待ちしております。



児童文学作家
久米 絵美里



今回の選考では特に、「言葉の音と意味の美しさ」に感動しました。最近「言葉の音」を楽しむことが得意な小中学生が増えていると感じていて、実際、今回の入賞作品も、その感性が輝いている作品が多かったと感じました。ただどの作品も、音だけではなく、その向こうに「意味」も見出した上で、さらにその意味を深め、伝えるという「知性とやさしさ」にも満ちていて、それを300字で理路整然とまとめられる文才も本当に素敵でした。言葉の「音に対する感性」と「意味に対する知性」、その両方が備わった皆様が未来をつくってくださるのであれば、将来は、とても豊かな言葉があふれる世界になる、と希望が湧き立ち、感謝の気持ちでいっぱいです。



文筆家・元書店員
大塚 真祐子



今年度初めて選考に参加させて頂きました。読書感想文は個人の感じたことを書くものですが、本の推せん文を書くというこのコンクールでは、本をつうじてまず、書く人が心をひらき、何か大切なものを明け渡すような気持ちになること、そのとき初めて本を推せんしたい誰かへの、本心からの言葉が生まれるのではないかと感じたので、まずは誰かへの思いの熱さと、あわせて書く人の心がひらいているかどうか、書いているその人自身が文章から見え、その人にしか書けない文章であるかどうかということ、私の選考のポイントとしました。子どもたちの「この本をすすめたい」という熱量に驚きました。選考の責任をひしひしと感じながら読み進めました。



安田女子大学 文学部教授
大滝 一登



今回は、推敲を重ねた結果、完成度の高い、非常に引き締まった作品が並びました。本の魅力を伝えることは大前提なのですが、「誰に向けた推せん文なのか」を絞り込んでいる点を重要視して選考しました。なぜなら、伝える相手を明確にすることで、文章の個別性、特殊性、あるいは質の高さにつながると考えたからです。その結果、思いが伝わり、表現をよく考え、バランス感を感じられるものが残りました。作品の傾向として、以前はコロナ禍やウクライナ侵攻など時事的な問題を扱ったものが数多くありました。しかし今回は、家族や友達など身近な世界をテーマにしたものが多い印象で、作品の力を感じました。



広島大学大学院
人間社会科学部研究科・教育学部教授

山元 隆春

選考委員長



コンクールも4回目を数え、「人に伝える文章の型」が見えてきたようです。その中で今回は、「関係性に配慮した」作品が多い印象を受けました。小学校低学年は、「仲間をつくる」「仲間を思う」ことを書いたものが多く見られ、高学年では、裁縫など、興味の広がりや深まりを伝えるものが増えました。中学生は、「自分の今」と対話し、「心のありか」を探すように本を紹介しています。また、高校生や大人が読むような本を自己探究につながる紹介としているのも特長でした。推せんする相手は、低学年が明確に対象者を決めているのに対し、中学生はまるで自分と対話をしているようです。一緒にこれを読んで考えようと相手に勤める作品も数多くありました。



作家・コラムニスト

ひきた よしあき



自分の主張を声高に叫ぶだけでなく、対象に対して思いを馳せる作品が数多くありました。モグラやカラスの気持ち、兄弟や友だちの身になって考える。そんな「相手思い」の作品がたくさんありました。全体を通して温かな気持ちになれたのはそのためでしょう。選考に偏りがあってはいけないと考え、読む順番を変え、二度三度と読みます。自分の気分や体調に左右されないように読み返します。それでも選ぶ作品は変わらない。いつも同じものを選んでる。いいものは、いい。その「よさ」の真ん中には、自分の心の芯がある。それを文章にして、相手に気づいてほしい、変わってほしいと願うものです。そうした作品が多かったことを嬉しく思います。



公益財団法人 博報堂教育財団 常務理事

中馬 淳



読書推せん文の趣旨である「誰に、どの本を、なぜすすめるのか」という3つの点が書き込まれている作品が増えてきました。私はこれに加えて、素直な思い、強い気持ち、本音や本心をさらけ出す勇気を大切に選考しました。子どもたちが選ぶ本には時代性が反映されていて、今回はロシアやイスラエルに関する話、またノーベル平和賞の発表前でしたが、原爆をテーマにした作品も多くありました。中学生の作品に、悩みや劣等感、鬱屈した気持ちを書いたものが多かったのも年代や時代ゆえでしょう。今回は、37,818作品と過去最高の応募数となりましたが、内容的にも前回までと比べて遜色のないものが集まりました。読み応えがありました。



慶應義塾大学 教職課程センター教授

佐久間 亜紀



粒が揃ってきた印象です。推敲を重ねたものが多く、どの作品にも引き込まれ、選ぶのにとっても迷いました。そこで、おすすめしたい人に向けた言葉のパワーが伝わってくる作品、私にまでその「おすすめパワー」が伝わってきて応答しなくなってしまった作品を選ばせて頂きました。また、今回は身近な誰かに向けて本を推せんするだけでなく、「いじめで苦しんでいる人へ」など、もっと広い人たちに向けて書かれた作品が増えたように思います。本との対話を通して考えた自分の思いを、「みんなの問題」としてとらえ直し、世の中の人に向けて、公共に向けて声を上げる。そんな子どもが、このコンクールをきっかけに育ってくれたら素晴らしいと思います。

小学校 1～3年生の部



作品は入賞者の居住地の都道府県コード順、同一都道府県内は氏名の五十音順に掲載し、入賞者の敬称は略しました。

『しっばいに かんぱい!』

おすすめの
相手 これからのわたし

遠山 結菜 (秋田県)
横手市立旭小学校2年生



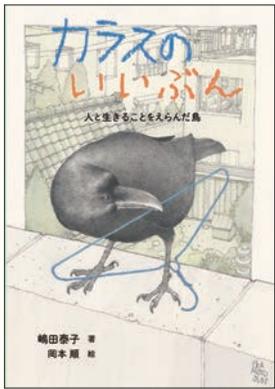
『しっばいにかんぱい!』
宮川ひろ/作 小泉み子/絵
童心社

わたしは、『しっばいにかんぱい!』を読みました。しっばいをしたときにどうしてかんぱいをするのだろうと思っただけです。この本には、かなさんという人が出てきます。六年生のうんどう会でアンカーをまかされて一いでゴールをしました。おじいちゃんかなさんをごはんにさそってくれて、あつまったみんなにしっばい話をさせて、力いっばいのかんぱいをしてあげました。わたしは、おじいちゃん、おじいちゃんをだいにして、大きくなってくれよ」の言ばにかんぱいしました。しっばいもいいことだと思いました。わたしもしっばいを大にしているんなことにチャレンジしたいです。

『カラスのいいぶん』

おすすめの
相手 私のお母さん

遠藤 夏葵 (埼玉県)
星野学園小学校3年生



『カラスのいいぶん
人と生きることをえらんだ鳥』
嶋田泰子/著 岡本順/絵
童心社

「カラスってなんかこわい。」
「カラスってゴミをあさって、きたなくするから、すごくめいわく。」
そんなふうにお母さんは思っているでしょう。私はこの本を読んで、少しカラスを友だちのようなそんざいに感じるようになりました。たしかにゴミをあさるけど、カラスにとっては、大事なごはんです。ヒナをそだてている時は、ひつ死にごはんを運ばないといけません。カラスはなかまといっしょに、遊びたいです。町で生きることをえらんだカラスたち。せっかく同じ町にくらすのだから、仲よくなれたらいいなと思います。
お母さんにも、この本を読んで、私のお友だちのことを、知ってほしいです。



『教室は まちがうところだ』

おすすめの
相手 クラスの友だち

酒井果穂（埼玉県）

昭和女子大学附属昭和小学校2年生



『教室はまちがうところだ』
蒔田晋治／作 長谷川知子／絵
子どもの未来社

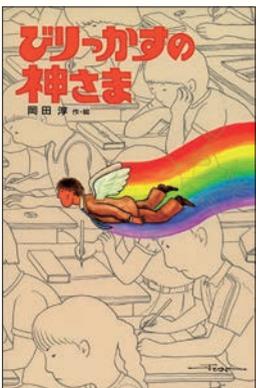
この本をオススメしたいと思ったのは、私はじゅぎょうで、まちがえたらはずかしい、正しい答えを言わなければいけないと思ってしまい、手をあげられないことが多いからです。読み始めてすぐに「まちがうことをおそれちゃいけない」という文を見つけて、そうなんだ！と、とても気持ちが明るくなりました。そして、手をあげてみよう！と、じしんが出てきました。まちがった答えを言おう、まちがって当たり前だ、まちがってなぜわるい、というメッセージが私の心につきささって、ゆう気をたくさんもらいました。クラスの友だちもこの本を読んで、ゆう気をもらって、色々な考えを言い合って、もっと楽しいじゅぎょうが作られると良いな、と思います。

『びりっかすの 神さま』

おすすめの
相手 一番にこだわっている人

坂井柚咲（埼玉県）

星野学園小学校3年生



『びりっかすの神さま』
岡田淳／作・絵
偕成社

私は勉強でもスポーツでも何でも一番になりたいと思っていました。でもこの本を読んで考え方が変わりました。主人公のお父さんは亡くなる直前に「がんばれ」という言葉を残します。私は一番になれるようにがんばるという意味だと思いました。がんばれの本当の意味は？ 順位をあらそうのはなぜ？ ビリっかすは？ 順ことなの？ 一番を取るのはいらいことなのか？ 私たちがこれから年をかさねるにつれて人とくらべられる場面がたくさん出てきます。大切なのは人にかつ負けるではなく自分が出せる力を出し切って本気で取り組むことなのだと思います。一番にこだわっている人に読んでもらいたい大切なことに気づいてほしいです。



『子どもと一緒に見つける 草花さんぽ図鑑』

おすすめの
相手
道ばたにはえている草花を
全部ざっ草だと
思っている人

北林俊思（千葉県）
千葉市立美浜打瀬小学校3年生



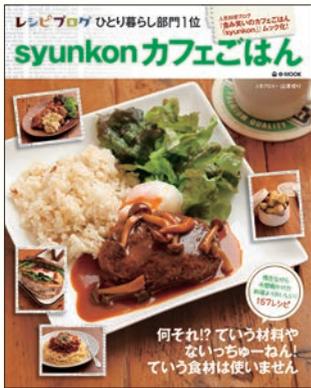
『子どもと一緒に見つける
草花さんぽ図鑑』
NPO法人自然観察大学／監修
永岡書店

「ざっ草だ！」と友だちに言われると、ぼくは「ちゃんと名前があるんだよなあ」と思います。でもそのことを知れたのはこの本のおかげです。一年生のたんにんの先生は植物にくわしくて、この本をあい用していました。さっそく手に入れたぼくは、植物に出会おうと、この本で調べて、先生がやっていたようにふせんをつけていきました。今では数えきれないほどになっています。ただのざっ草だと思っていた草花も名前やとくちようを知ること、きせつのへんかに気づいたり、レアな花を発見してうれしくなったり、毎日のさんぽ道が楽しくなりました。みなさんもこの本を読めばかならずお気に入りの草花に出会えるはずですよ。

『syunkon カフェごはん』

おすすめの
相手
おかあさん

小山祥平（千葉県）
市原市立若葉小学校2年生



『syunkonカフェごはん』
山本ゆり／著
宝島社

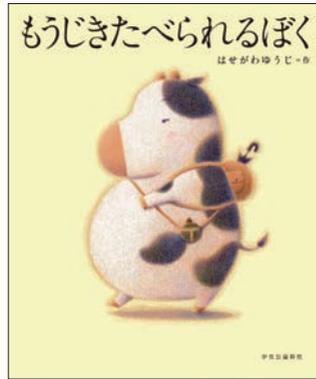
おかあさんはりょうりがきらいです。いつもめんどくさそうにしています。りょうりがきらいすぎて土曜日、日曜日どっちかの夕はんがいい食をすることになっています。でもおかあさんのつくるハンバーグは肉じるが中にしみこんでおいしいです。ぼくが本の中で一ばんすきなメニューはハッシュドミートボールです。おかあさんといっしょにつくったら、ぼくもおかあさんものしくなると思うからです。ぜひおかあさんにこの本を読んでもらって、おいしいりょうりをたのしくつくってもらいたいです。そして、おかあさんのつくったりりょうりをもっといっぱい食べたいです。



『もうじき たべられるぼく』

おすすめの
相手 食べ物へのこしてしまう人

上原悠希 (東京都)
昭和女子大学附属昭和小学校3年生



『もうじきたべられるぼく』
はせがわゆうじ／作
中央公論新社

この本は、もうじき食べられる牛がさい後のねがいであるお母さん牛に会いに行く話です。しあわせにくらしているお母さん牛を見て会うことをあきらめてしまいましたが、自分が生きるかわりに「自分を食べる人には自分のいのちを大切にしてほしい」というねがいや、「食べ物にはたく山のいのちがかかわっている」ということを教えてくれる話です。

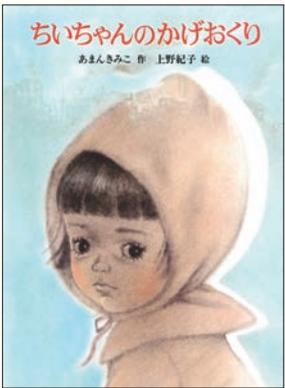
ぼくは、食べることは当たり前で意識していませんでした。この本を読んで、「いただきます」と「ごちそうさま」をあらためて大切にしたいと思いました。

ごはんをのこしたり、好ききらいをしてしまう人にこの本を読んで自分や食べ物のいのちについて考えるきっかけにしてほしいです。

『ちいちゃんのかげおくり』

おすすめの
相手 せんそうをしている人たちへ

星遥 (東京都)
白百合学園小学校3年生



『ちいちゃんのかげおくり』
あまみきみこ／作 上野紀子／絵
あかね書房

わたしは、この本を読んでなきそうになりました。なぜかという、せんそうによってたかさんの人が心のきずや体のきずをおうと思いつたからです。

今、世界ではたかさんのせんそうがおこっています。わたしは、今おこっているせんそうとこの本の中のせんそうは同じものだと思います。なぜかという、たたかっている理由はちがうけれど、どちらのせんそうも、かならずだれかが心のきずや体のきずをおっているからです。なので、わたしは、この本をせんそうをしている国やせんそうをしている人に読んでもらって、「せんそうはよくないな」と思ってもらい、せんそうをやめてもらって、せんそうで苦しんでいる方たちをすくいたいです。



『ごめんねでてこい』

おすすめの
相手 なかなかごめんねと
言えない子へ

山川 めいか (東京都)
昭和女子大学附属昭和小学校2年生



『ごめんねでてこい』
ささきみお / 作・絵
文研出版

わたしは、ともだちとけんかをしたときに、なかなかごめんねと言えないときがあります。この本の主人公のはなちゃんも、大きなおばあちゃんにごめんねと言えません。はなちゃんは、ほんとうは、あやまりたいと思っっているのになかなかあやまれないときの、心かもやもやる気もちや気まずい気もちがわたしとおなじだと思いました。

はなちゃんは、どうやっておばあちゃんと、なかなかおりをしたのでしようか。わたしは、本をさいごまで読んで、すぐくかんどうしたし、もしかたしがともだちや家ぞくとけんかしたときには、ゆう気を出して、ごめんねと言おうと思いました。ぜひ読んでみてください。

『昆虫とあそぼう』

おすすめの
相手 虫がにが手な人へ

河合 陽咲 (福井県)
小浜市立今富小学校2年生



『昆虫とあそぼう』
とだこうじろう / 作・絵
戸田デザイン研究室

わたしは虫がにが手です。見るのもこわいので昆虫図かんもすこししか見ていません。でも、この本は大きいです。本やさんで見つけた時、「昆虫とはあそべないやん。」と思いき、ページをめくってみると、絵がきれいでかわいくてふしぎとぜんぜん気もちわるくないのです。よく見かける昆虫をかわいい字で話しかけるように教えてくれます。まずさいしよはテントウムシです。もようのちがうしゆるいは百八十しゆるいもいます。うるさいセミは土の中で六年いて出てきたら一週間でいなくなるとわかって、うるさくてもしかたないなと思えるようになりました。ほかにハチ、トンボ、たくさん出てくるのでたのしいです。虫がにが手なおかあさんにもおすすめしました。



『大ピンチずかん』

すすめたい
相手 おかあさん

片桐莉子 (岐阜県)

関市立金竜小学校1年生



『大ピンチずかん』
鈴木のりたけ/作
小学館

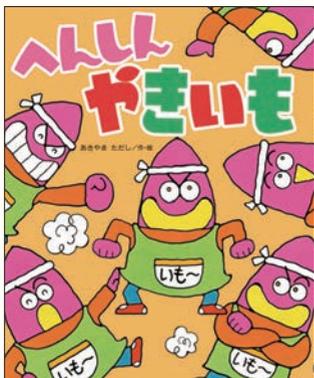
「ペンがしみてつくえについた」
大ピンチレベル7。わたしがよくなる大ピンチ。おかあさんにしようじきにいうときもあるけど、つくえについたことにきづかずそのままのことも。そのあと、おかあさんがきづいて「もおおー」とほっぺをふくらませる。おこられるかもー、わたしにやってきたふたつめの大ピンチ。でも、「まっいっか」でのりきるわたし。そしたらおかあさんのかおがやわらかくなる。おかあさん、この『大ピンチずかん』には、たくさんの大ピンチがまつていて、だれにでもおこることがある。おかあさんにだってあるでしょ。わたしが「まっいっか」でのりきるんだから、おかあさんもわたしの大ピンチをわらってゆるしてー。

『へんしんやきいも』

すすめたい
相手 弟のそうちゃん

三間 匠馬 (岐阜県)

大野町立南小学校3年生



『へんしんやきいも』
あきやまただし/作・絵
金の星社

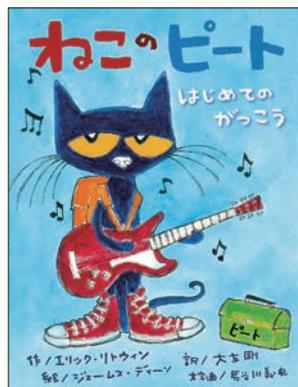
この本はたくさんのおもしろいおならが出てきます。ぼくのお気に入りは「ぷすーつという風のようなおなら」です。そうちゃんはおもしろいことがすきだから、大わらいするにちがいありません。おならをした後のおんぷちゃんのスました顔も最高です。
そうちゃんは血えきの病気があって、いつもちゅうしやをなぎながらがんばっています。たくさんわらうと元気になって病気がよくなることがあるとテレビで見たので、おならで病気をやっつけてやろうと思います。
そうちゃんはまだ、じょうずにひらがなが読めません。だからぼくが思いきりじょうずに読んであげて、そうちゃんをゲラゲラ大わらいさせたいです。



『ねこのピート はじめてのがっこう』

おすすめの
相手 しん1ねんせいと
にゆうがくまえのじぶん

末松采華（岐阜県）
関市立金竜小学校1年生



『ねこのピートはじめてのがっこう』
エリック・リトウィン/作
ジェームス・ディーン/絵 大友剛/訳
長谷川義史/文字画
ひさかたチャイルド

ピートはがっこうがたのしそうでした。
わたしは、はじめてのがっこうは、きんちよ
うしました。せんせいはいわくなくかな。べん
きょうはできるかな。でも、ピートはきんちよ
うしていません。はじめてのがっこうをたのし
んでいるピートはすごいとおもいます。
これから1ねんせいになるこや、にゆうがく
まえのドキドキしていたわたしによんでもらい
たいです。

わたしはいま、
きゆうしよくかなりさいこう！
やすみじかかなりさいこう！
おんがくかなりさいこう！

『巨大地震の サバイバル』

おすすめの
相手 じしんから
いのちをまもりたい人

高田 昊太郎（静岡県）
静岡市立長田西小学校2年生



『巨大地震のサバイバル』
洪在徹/原案 もとじろう/絵
大木聖子/監修
朝日新聞出版

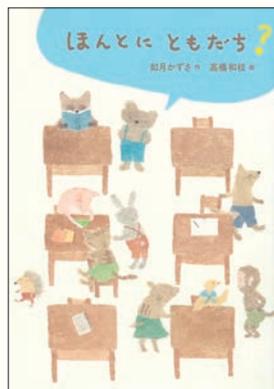
ぼくたちのすむ日本は「じしん大国」と言わ
れています。お父さんとお母さんは、東日本大
しんさいのときボランティアに行つてつなみの
ひがいを見てきたので、どこかでじしんがおこ
るたびに「ぼうさいがだいじ」だと言っていま
す。この本を読むと、家だけでなく外でじしん
にあったときのこうどうや、ぼうさいリュック
とぼうさいポーチの中に入れるとよいものがわ
かります。ぼくはこの本を読んでから、出かけ
るときにはライトやホイッスル、けいたいとい
レやタオルを入れたぼうさいボトルとのみもの、
じぶんのすきなおかしをもちあるくようになり
ました。ぜひこの本を読んで、じしんからの
ちをまもらましょう。



『ほんとに ともだち?』

おすすめの
相手 ともだち

市南健悟 (京都府)
奈良学園小学校3年生



『ほんとにともだち?』
如月かずさ/作 高橋和枝/絵
小峰書店

もし、友達のことでも考えたり、ふあんに思ったら、ぜひこの本を読んでほしいです。子どもも、きっと大人も楽しく読めます。

この本の主人公のまあくんとたんくんはふしぎな関係です。一緒にいるけど、おたがい好きな事をして話しません。ぼくは、「それって本当の友達かな。」

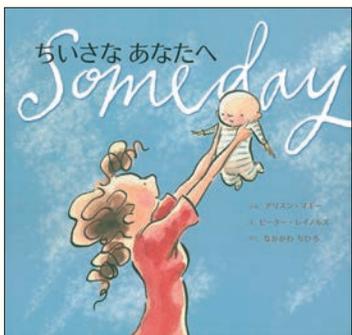
と思いました。ぼくは友達と話すのが大好きです。一緒に笑って、一緒に遊ぶのが最高に楽しいです。だから、はじめこの本を読んだ時、二人は友達じゃないと思いました。

でも、本を読み終わって、友達っていろんな形があることを知りました。心がうじたとき、ぼくたちはきっと本当の友達なんだと思います。早くあしたになって友達に会いたいな。

『ちいさなあなたへ』

おすすめの
相手 みらいの私とその子ども

田代美幸 (京都府)
関西創価小学校3年生



『ちいさなあなたへ』
アリスン・マギー/文 ピーター・レイノルズ/絵
なかがわちひろ/訳
主婦の友社

この本は、私が赤ちゃんだったころ、おかあさんが買った本です。赤ちゃんだった私に読みかかせてくれたわけではなく、少し大きくなってから大切にしまっていたこの本をプレゼントしてくれました。私が生まれた時、歩きだした時、学校に行きはじめて時、私をどれほど大切に思い、心ばいし、信じ続けてくれたか、この本を通して伝わってきました。

私が大人になるまでに、きっといろんな思いをしたり、かべにぶつかったりするかもしれない。そんな時はこの本を開いて、私を大切に思い続けてくれる人がいることをわすれないでいようと思いました。そして私がおかあさんになったら、私の子どもにそのことを伝えてあげたいです。



『わすれもの チャンピオン』

おすすめの
相手 お母さん

延與侑 一良 (和歌山県)
智辯学園和歌山小学校3年生



『わすれものチャンピオン』
花田鳩子/作 羽尻利門/絵
PHP研究所

お母さんは、たまにお弁当におはしを入れるのをわすれます。きつと、やるが多すぎてあわてているからだと思います。そんなお母さんにこの本をおすすめします。わすれものチャンピオンをそつ業するいい作せんが見つかると思います。そして、ぼくもたまに上ばきをわすれます。お母さんに、「今日は上ばきを持って帰る日よ。」と言われて「わかった!」と返事をすると、けつきよくぼくは上ばきをわすれます。どの段階でわすれるのか? ふしぎです。次にぼくが上ばきのことを思い出すのは、お母さんに「上ばきを出して。」と言われたときです。ぼくが上ばきをわすれるのは、学校と家が楽しすぎて、上ばきのことを思い出すひまがないからです。

『ねぐせのしくみ』

おすすめの
相手 おにいちゃん

橋本千明 (和歌山県)
智辯学園和歌山小学校2年生



『ねぐせのしくみ』
ヨシタケシンスケ/作
ブロンズ新社

わたしのおにいちゃんは、毎日ねぐせがおもしろいです。

『ねぐせのしくみ』を読んで、おにいちゃんもねている時に、うちゅう人につれていかれてワ―ワ―言われ、ねぐせをいろいろとかえられているのかもしれないと思いました。

わたしは、毎日よだれがでるのでもしかしたら、おいしいものをおかれているのかなと思いました。もし、その時目がさめたらいっぱい食べられるのになー。

おにいちゃんのねぐせのために毎日うちゅう人がたくさんがんばってくれているので、うちゅう人には「ありがとう、でも、やめてね。」と言いたいです。

あしたからの、おにいちゃんのねぐせがたのしみです。



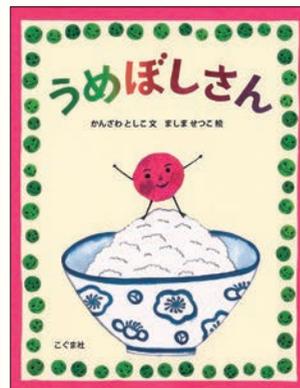
『うめぼしさん』

すすめたい
相手

おばあちゃん

鎌田一登 (島根県)

出雲市立北陽小学校1年生



『うめぼしさん』

かんざわとしこ/文 ましませつこ/絵
こぐま社

このほんをよむと、うめぼしのつくりかたがわかるし、うめぼしがたべたくくなります。うめぼしがこんなにまっかなのは、おさけをふられて、よっぱらうからなのかなとおもいました。いちばんびつくりしたことは、たねのなかにてんじんさんがいることです。ぼくはうめぼしのたねをわってみました。てんじんさんが、ほんとうにはいつていました。

ぼくのおばあちゃんはまいとしようめじゅうすをつくってくれます。あまくてだいすきです。だけど、ぼくはこのほんをおばあちゃんにすいせんしたいです。ぼくは、かわいいてんじんさんにおねがいしました。らいねんは、おばあちゃんがこのほんをよんで、うめぼしもつくってくれますように。

『いちばん しあわせな おくりもの』

すすめたい
相手

せかいじゅうのひと

井上泰成 (広島県)

英数学館小学校1年生



『いちばんしあわせなおくりもの』

宮野聡子/作・絵
教育画劇

この本は、たいせつな人といっしょにすごせることが、一ばんしあわせなことだよとおしえてくれました。しんがたコロナウイルスによって、ともだちやじいじ、ばあばにあうことができなくなりました。あいたい人にあえないのは、とてもかなしかったです。ぼくは、いままででれくさくて、じぶんのきもちをあまりいわなかつたけれど、この本をよんで、つたえたいことはいまつたえようとおもいました。パパやママには、まい日ねるまえに「大すきだよ。」といっています。ともだちには、「ありがとう。」とたくさんいっています。いまいっしょにすごせることが、一ばんしあわせだよっておもえるあたかいきもちになれる本です。



『ちよつとだけ』

おすすめの
相手

たんになんだったかしま先生

伊藤沙来 (山口県)

防府市立牟礼南小学校3年生



『ちよつとだけ』

瀧村有子/さく 鈴木永子/え
福音館書店

大好きなかしま先生、もうすぐ赤ちゃんが生まれますね。この本を先生におくります。
主人公のなっちゃん、おうちに赤ちゃんが生まれて、お母さんは大いそがしです。だから、いろんなことを自分でやって、「ちよつとだけ」うまくいきます。ある時、ねむたくなつたなっちゃんは、お母さんに「ちよつとだけ」だつこをたのむと、お母さんはいっぱいだつこをしてくれました。

かしま先生は、私たちとたくさん遊んでくれて、たくさんのことを教えてくれました。私は先生のお顔が大好きです。これからは、先生のしごとを「ちよつとだけ」お休みして、赤ちゃんとたくさんすごしてください。いつか、お母さんになった先生に会いたいです。

『はたらく細胞 (5)』

おすすめの
相手

オナラがくさすぎて
なやんでいる人

鈴木富子 (福岡県)

福岡市立飯原小学校3年生



『はたらく細胞 (5)』

清水茜/著
講談社

あなたのオナラはくさいですか。そうなら、『はたらく細胞』の5巻を読んでほしいです。腸に悪玉菌が多いとオナラがくさくて、病気になりやすいことがわかり、ぞつとします。

私のイチオシは、ゆで玉子みたいに丸くてかわい乳酸菌です。プリン体を食べて体の中をおそうじしたり、にゅーにゅー言いながらピロリ菌をおすところは「がんばれ！」とハラハラします。私は、おかしだけじゃなく、にが手な野菜も食べようと思うよ。なぜなら乳酸菌たちのエサだから。もしあなたのオナラがくさすぎるなら、野菜や発酵食品を食べるといいよ。いつかけんびきょうで自分の乳酸菌を見てみたいです。そしてありがとうと言いたいです。



『マークの図鑑』

おすすめの
相手
マークが好きな人

藤川桃香（福岡県）
筑前町立三輪小学校3年生



『キッズペディア マークの図鑑』
小学館／編
小学館

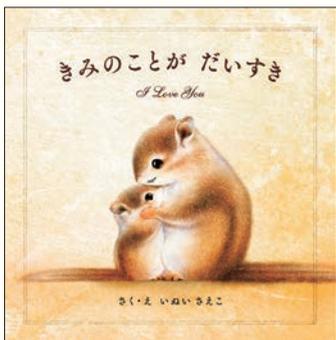
わたしがマークを好きになったのは、車にはつてある、しょんしゃマークの色や形がかわいいなど思ったからです。かわいいからお母さんの車にもはつてという、しょんしゃマークは、車のめんきよをとったばかりの人が、それをまわりにしらせるためのマークなんだよとおしえてくれました。

家の中や外には、たくさんマークがあつて、それぞれ意味があります。この本を見ると、それがどういう意味のマークかわかるし、まだ見たことないマークもたくさんあつて、カラフルな色やふしぎな形、動物のマークもあつたりして、マークを見ていただけでもわくわくします。マークが好きな人や、その意味を知りたい人に見てほしい本です。

『きみのことがだいすき』

おすすめの
相手
せかいじゅうの
ほしゅうこうにかよう
一ねんせい

辻之内皇汰（シンガポール共和国）
シンガポール日本語補習授業校 小学部1年生

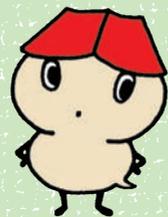


『きみのことがだいすき』
いぬいさえこ／さく・え
パイ インターナショナル

ぼくは一ねんせいになりほしゅうこうにかよいはじめた。いつものがっこうはえいごだから、にほんごのクラスのとちやせんせいにあえるのは、しんせんでたのしい。でも、まいかい三じかんのながいじゅぎょうにたくさんしゅくだいがでるので、しょうじきクタクタだ。そんなとき、ぼくをおうえんしてくれるのがこのえほん。まちがうときもしつぱいするときもあるけど、「たくさんしつぱいする、きみはすてき。たくさんまねにすすんでいるよ」とおしえてくれる。このえほんをよむと、こころをギュウしてもらえるんだ。「あしたは、いい日になるよ」というところが、ぼくのいちばんのおきにいらほしゅうこうの一ねんせいみんなによんであげたい。



小学校 4～6年生の部



作品は入賞者の居住地の都道府県コード順、同一都道府県内は氏名の五十音順に掲載し、入賞者の敬称は略しました。

『ことばのかたち』

すすめたい
相手

友達とけんかをした人

及川佳純 (宮城県)

石巻市立石巻小学校5年生

あなたは、友達のことを大切にしていますか。この本は、とても優しい感じがする本なので友達とけんかしちゃった時に一人で読むと心と体が落ち着きます。

「もしも話すことばが目に見えたらどんなかたちをしているだろう」と書いてあります。私はとくに、

「かなしいことばはつめたい水滴」

「たのしいことばはタンバリン！」

の言葉が心に残りました。きっと友達とけんかしちゃった人たちがこの言葉をみるとなぐさめられると思います。大切な友達にどんな言葉を伝えようか、考えるきっかけをくれます。

みなさんは、友達とけんかして仲直りすることができますか。この本を読んでみてきちんと仲直りしてくださいね。



『ことばのかたち』
おーなり由子／作
講談社

『ごみじゃない!』

すすめたい
相手

小さな子供に
「ごみじゃない」と言われて
困っているお母さんへ

石井咲帆 (埼玉県)

西武学園文理小学校4年生



『ごみじゃない!』
minchi／作・絵
PHP研究所

子供ってよく「ごみじゃない。」と言うよね。私もよく「ごみじゃない。」と言って、物を集めては、しまいこんだり、ごみに見える物でもおもちゃにして遊んだり、お母さんを困らせていました。

そんな時に出会ったこの本は、幼児期あるあの行動が書かれていて、「うちの子は変じゃない。」と、お母さんを安心させてくれた本だそうです。私も一緒に、「分かる、分かる。ごみじゃないんだよね。」と、共感しながら、何度もこの本を読みました。だけど、子供にとってそれは、「ごみじゃない、宝物。」なんだよ。

「ごみじゃない。」と言われて、困っているお母さんに、この本を読んで安心してもらいたいです。



『ポケモンをつくった男』

田尻智

おすすめの
相手

せみよりうるさいお母さん

太田想介（埼玉県）

川越市立新宿小学校5年生



『ポケモンをつくった男 田尻智』
宮本茂／解説 田中頭／まんが
菊田洋之／構成
小学館

本を読んでいると、ピアノの練習はしたの？
と言ってくるお母さん。ブロックで遊んでいる
と宿題やったの？と言ってくるお母さん。いつ
もあれやれ、これやれとうるさいお母さんには
『ポケモンをつくった男 田尻智』をおすすめす
る。ポケモンをつくった智さんは昆虫が大好き
な少年だったんだよ。虫好きなぼくと同じだよ。
ポケモンの原点は昆虫さい集なんだって。智さ
んは子どもの時から好きなことをどんどんやっ
て自分で考えたり調べることを楽しんでいた人
なんだ。これを読めばお母さんも、夢中になっ
ている人をとめてはいけなくと気づくはず。そ
うしたらぼくも、ポケモンをつくった男みたい
に、すごい人になれるかもしれないよ。

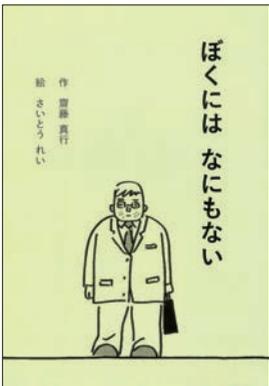
『ぼくにはなにもない』

おすすめの
相手

自分に自信がないあなたへ

佐藤未昊（埼玉県）

三芳町立藤久保小学校5年生



『ぼくにはなにもない』
齋藤真行／著 さいとうれい／絵
愛本出版
※現在は愛蔵版がダイヤモンド社より発行。

私は、『ぼくにはなにもない』を読んで、人生
には大した事をしなくても、楽しんでいけると
感じました。なぜなら、主人公の「ぼく」は、
なにもない自分と思いきなでしまっている。だ
けど、人々はみんな自分が「特別」だと言っ
てもらいたくて仕方がない。「ぼく」は、みんな
たいに「自分は何者か」と問いかけたりしない
から、心が穏やかだ。それは自慢にはならない
けど、その穏やかな心があるから、「自然の豊か
さ」に気づける。なにもなくても、大切なもの
に気づける、なにもなくても幸せでいられるこ
とを、この本から教えてもらいました。だから
私は、「自分になにもない」と自信がないあなた
へ、おすすめの思いました。



『おどる詩あそぶ詩 きこえる詩』

すすめたい
相手

詩をもっと楽しみたい人へ

鈴木祐太郎（千葉県）
市川市立市川小学校4年生



『おどる詩 あそぶ詩 きこえる詩』
飯野和好／絵 はせみつこ／編
富山房インターナショナル

詩は面白いです。わらえて楽しい色々な詩があることを教えてくれる本です。詩だけじゃなく絵もおもしろいので楽しく読めます。ダジャレみたいな詩や「る」だけ、「り」のくり返したけの詩や物語みたいな詩など、色々な詩の種類があるからあきないのです。

声にも出すと、しぜんリズムが出ていき詩を読みたいという気持ちがあップするのです。

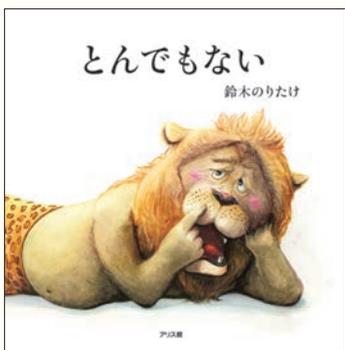
わたしたちは、ふだん言葉を、意味や感じょうを伝えるものとして使っています。しかし、詩の言葉は意味にしばらくられない一面を持っています。言葉で遊べるということです。詩にはせいかいがありません。自由に楽しく作って読んで、もつと詩にふれ合えたらいいと思います。

『とんでもない』

すすめたい
相手

自分に自信のない人へ

相吉澤希武（東京都）
足立区立北三谷小学校4年生



『とんでもない』
鈴木のりたけ／作
アリス館

授業中わかっていても手を挙げられないことがあるよね。べつに自信がないわけじゃないけど、なんでもすぐ言葉にして発言できる子ってすごいと思う。でも友だちは答えを指名される前に言ってしまったって、先生におこられてばかりだと言っていた。

強いライオンも大きくくじらも「とんでもない」って、自分の良いところをひ定する。自分にはないものは良く見えるけれど、あったらあったで大変だとわかった。

この絵本を読んで、ぼくにしかないすごいところなんて一つも見つからないけど今のままでいいのかと思えるようになった。どんなにがんばってもぼく以外のぼくにはなれない。ありのままの自分をもつと好きになろうと思った。



『ラベンダーとソプラノ』

おすすめ
相手 必死に目標に向かって
頑張っているあなたに!!

大澤凜々 (東京都)

世田谷区立三軒茶屋小学校 6年生



『ラベンダーとソプラノ』
額賀澤 / 作 いつか / 絵
岩崎書店

真子は朔という合唱団の子に出会います。沢山の会話を通して「競争して一番をめざすのだけが、えらいわけじゃない」という事や「不登校になるまで練習をする必要があるわけではない」という事を考え始めます。

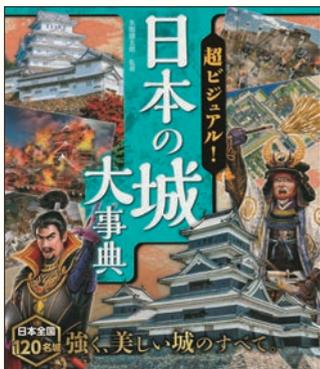
私はいつも、頑張ると決めたことに対して、辛くてもそのことを考えて、頑張らなくてはいけないと思っていました。でも、文章中にある「二十四時間、毎日毎日、合唱コンクールのことだけを考えていたら、うまくなれるの?」という問いかけに出会い、「違う方法もあるかもしれない」と思うことができました。一つ一つの問いかけから、自分の考えを見直す事ができるお話です。ぜひ皆さんも主人公と一緒に考えてみて下さい。

『超ビジュアル! 日本の城大事典』

おすすめ
相手 戦国時代の築城者

加藤光旗 (東京都)

足立区立千寿校小学校 4年生



『超ビジュアル! 日本の城大事典』
矢部健太郎 / 監
西東社

この本には、戦国時代に強固だった城の秘密が全てのっています。

ぼくが築城者だったら、天守は姫路城、堀は大坂城、きぼは江戸城、石垣は熊本城を組み合わせて、日本最強の城を築いたら良いと思うのですが、実さいに築いたみなさんから意見を聞いてみたいです。ぼくは歴史が好きで、現存十二天守にも半分くらい行きましたが、特に、丸亀城を築城した生駒公に、「日本一の石垣だけあって登るのが大変だったけど、見晴らしは最高でした。」と伝えたいです。

築城者のみなさん、自分の築いた城がランキングにのっているか見てください。万一、のってなくても、おこらないでくださいね。



『つまんない つまんない』

おすすめの
相手 今つまんない人へ

金井辰樹 (東京都)

八王子市立東浅川小学校6年生



『つまんないつまんない』
ヨシタケシンスケ / 著
白泉社

僕は今つまんない。
ゲームもつまんないし今日はテレビもつまんない。
お母さん、お父さんに宿題やれと言われても宿
題はつまんないし。

宿題の読書推せん文コンクールをやるために家
で本をさがしてたら自分にぴったりの本があった。

『つまんないつまんない』

このタイトルを見た時思った。今の自分じゃん。
本の中の男の子がお母さんに「ねえ。つまんないん
だけど」って言うところも自分そっくりで笑った。
でも自分とちがうのは、男の子はどうしてつまん
ないのか、考えはじめ。「ずーっと何かがおなじな
のがつまらない?」「世界一つまらない遊園地つ
て?」「つまんないことを考えるのっておもしろ
い!」今つまんない人も、男の子といっしょにつま
んないをおもしろいにかえてください。

『おいで、 一緒に行こう』

おすすめの
相手 動物が好きな人

慶伊希美 (東京都)

世田谷区立三軒茶屋小学校6年生



『おいで、一緒に行こう』
森絵都 / 著
文春文庫

この話には、大きな事故で街に取り残されて
しまったペットたちを救出する人の姿が描かれ
ています。テレビや新聞に人のことは取り上げ
られても、動物たちのことは取り上げられませ
ん。でも、知られずに死と隣り合わせで苦しん
でいる動物たちがいます。

これを読んでいるみんなに伝えたいことがあ
ります。福島の原発、他にも色々な災害で人だ
けでなく、動物たちも犠牲になったことを忘れ
ないでください。この本を読んでどうすれば動
物たちの命を守れるのか考えてほしいです。

私も動物を保護する人たちの力になりたいの
で、ペットを飼えるようになったら、保護猫・
保護犬活動に協力したいです。動物たちが幸せ
であることを願っています。



『さわって学べる 算数図鑑』

おすすめの
相手
算数がきらいな人

小林暖（東京都）
明星小学校4年生



『さわって学べる算数図鑑』
朝倉仁／監修
Gakken

私は算数が好きです。なぜなら、むずかしい問題やなどが解けると面白いからです。

この本は触って、組み立てて、わくわくしながらページをめくれます。算数が好きな人はもちろん、きらいな人にも、とっておきの一冊になると思います。

私のお気に入りは、「立体組み立て」のページです。直方体、立方体、円すいなどたくさん立体がこの図鑑上で作れます。さい後のページには、クイズがあります。この本で知った事を楽しく復習出来るのでおすすめです。

この本を読んだら、もっと算数にきょう味を持てるし、面白く感じるはずですよ。算数がきらいな人、是非手に取って下さい。

『すごい 学習メソッド』

おすすめの
相手
子どもの接し方に
悩んでいる
お母さん・お父さん

須藤葉月（東京都）
世田谷区立三軒茶屋小学校6年生



『勉強しなさいと言わずに成績が上がる！
すごい学習メソッド
学校成績アップ日本一の塾長が教える、
子どもが即やる気になる勉強法』
藤野雄太／著
永岡書店

世のお父さんお母さん、勉強をしてくれない子どもにどう接したらいいか悩むことってありますよね。そんな時におすすめなのはこの本ですよ！

この本を読むと、子どもに勉強してほしい時、子どものやる気がなくならない声の掛け方や関わり方を知ることが出来ます。そして、子どもの成績を前よりものばすことが出来るでしょう！

私は子どもの立場ですが、この本を読んで、確かに「親にこの方法を使ってほしい」「自分が親だったら実際に試してみたい」と感じました。ただ、勉強しなさいと注意するだけでなく、この本を読んで、子どもとの関わり方を学んでみてはどうでしょうか？



『にげてさがして』

すすめたい
相手 今いじめられている人

高木悠人（東京都）

武蔵野市立桜野小学校4年生

ぼくは学校でひとりぼっちにされた事がある。とても悲しくて辛かった。なきながら家に走って帰った。

今いじめられている人がいたら、そこからにげてと言つてあげたい。いじめられつばなしでずつとそこにいたら、いつまでもいじめられちゃうから。自分のことを一番分かってくれる人のところに走つてにげて、たすけをもとめにいっていいんだよ。と教えてあげたい。この本を読んでみて。それで良いんだ、合つてたんだと思えるから。

ぼくは、この本を読んで自分をかえるために足を動かしてみようと思つた。ぼくのたすけを待っているだれかを見つけてあげたい。



『にげてさがして』
ヨシタケシンスケ／著
赤ちゃんとママ社
※現在はポプラ社より発行。

『いろどり屋』

すすめたい
相手 石川先生

長千紗都（東京都）

国府台女子学院小学部6年生

いつもとちがうちよつと不思議な物語、色々な色を作り出す最高の魔法。こんなファンタジーストーリーを読んでほしいと思つたのは、いつも塾で算数を教えてくれる石川先生です。授業が始まる前に話していたら、少しはいろどりのある服が着たいけど自分に似合う物を買うのが苦手、と言つていたからです。私は、先生に似合ういろどりの美しい服を選んであげたいと思いました。それで思いついたのが『いろどり屋』です。読んでいる内に私は、先生をこのいろどり屋に連れて行って、想像していた色を見つけてもらいたいと思つたけれど、もちろん、

行けるわけがありません。だからこの本を読んだ、服選びが得意になってほしいなと思ひました。



『いろどり屋』
十年屋と魔法街の住人たち2』
廣嶋玲子／作 佐竹美保／絵
静山社



『武田信玄と 上杉謙信 戦国武将物語』

すすめたい
相手 川中島の戦いに
参陣する武将

森島光世（東京都）

東洋英和女学院小学部5年生



『武田信玄と上杉謙信
戦国武将物語』
小沢章友／著 甘塩コメコ／絵
講談社青い鳥文庫

川中島の戦い、どちらに付くか決まりましたか。もし、もう決まったのなら、ちょっと待ってください。本当にそれで良いんですか。武田信玄にも、上杉謙信にも、それぞれの考えがあります。そのことを考えながら、この本を読んでください。みんなそれぞれ色々なことを考えているんだと、分かるはずですよ。武田信玄は、領土を拡大して、民のくらしを豊かにするために戦をします。そして、上杉謙信は、人に頼まれたら断らず、私利私欲の無い、義の戦をします。どちらも他人の事を思っています。

四百七十一年後の未来にいる私がすすめるこの本を読んで、もう一度考えてみてください。

あなたは、どちらに付きますか。

『新型ウイルスの サバイバル1・2』

すすめたい
相手 未来の自分の子

小西奏史郎（京都府）

城陽市立寺田小学校6年生



『新型ウイルスのサバイバル1』
ゴムドリco./文 韓賢東/絵
朝日新聞出版

君は新型コロナウイルスって知ってるかな。ぼくが小学二年生の時からあり、今でもあるウイルスのこと。このウイルスで日常生活百八十度変わってしまったんだ。例えば、学校に行けなくなったり、友だちと遊べなくなったり、自分がやっていることをできなくなったり。この日々が続く中、夢中になった本がこの本なんだ。この本では、人間、動物などからウイルスに感染してしまう危機から、守るための生活が分かる本だ。動物や植物から人間に感染した場面はとても引きこまれたよ。

もしかしたら、君の生きている時代にも新しいウイルスがあるかもしれないけど、きっと昔の知恵やみんなの努力で収まると思うから今できることを楽しんでね。



『名作転生 脇役ロマンス』

おすすめの
相手 自分に自信がない人へ

梅野南菜 (大阪府)

和泉市立青葉はつが野小学校6年生

この本の主人公達は、有名なあの作品の「脇役」達。脇役達から見るお話は、誰もが知っているお話を誰もが知らない形で読むことができます。

読む前の私は、周りに合わせてはばかりだったけど、読んでみて脇役達も最後は主役より自信ある行動をしていて私もこんな風になりたいと思えるようになりました。

もっともつと自分らしくいた方が失敗しても次が分かる。とくに、「シンデレラの姉」は自信を持ってたからこそ芽生える新しい自分を存分に楽しむお話で「少しの自信で自分が変わる。自分が変われば周りが変わる。」そう考えると、とても素敵な世界になると思います。



『名作転生 脇役ロマンス』
小島水青、小松原宏子、北野勇作、
こざきゆう、森奈津子、粟生こずえ/著
Gakken

『講談えほん』

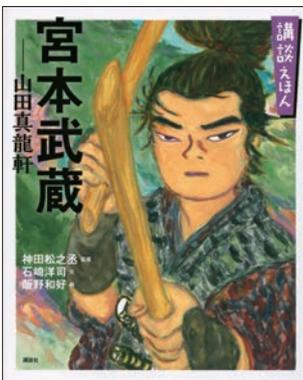
宮本武蔵

—山田真龍軒—

おすすめの
相手 講談のことを知らない人

楠見珀翔 (大阪府)

和泉市立青葉はつが野小学校5年生



『講談えほん 宮本武蔵 山田真龍軒』
神田松之丞/監 石崎洋司/文
飯野和好/絵
講談社

皆さんは講談を知っていますか。この本を読めば、きつと講談をきいてみたくなります。お話の中に、「ぴしーっ」や、「ぶんぶん」などの効果音がたくさんできます。それに説明も分かりやすいし、「ー」のついた文もたくさんあって迫力も感じました。絵本の内容は、講談師の神田伯山さんが実際に読まれています。僕はどんなふう話しているのか気になって本を読んだ後に動画を見ました。話し方や小道具でさらに迫力が増し、お話が面白く感じました。この本を読んで僕は講談に興味がありました。皆さんもこの本をきっかけに講談に興味をもてると思います。なのでぜひ読んでみてください。



『かんたんクッキング 12か月』

おすすめの
相手 大好きなバナナへ

片桐花奈（兵庫県）
神戸市立義務教育学校八多学園5年生



『かわいくつくっちゃおう！
かんたんクッキング 12か月
7月&8月 七夕とお祭り』
トモコ=ガルシア/作
岩崎書店

バナナ生まれてきてくれてありがとう。バナナが、この世に生まれていなかったら、わたしは、生きていけないぐらいバナナのことを大切に思っています。今から、バナナに教えたい本を紹介します。それは、『かんたんクッキング12か月』という本です。バナナは、今の自分が一番おいしいと思っているでしょう。でも、もっとおいしい食べ方があるんです。それは、バナナチョコ、バナナあめ、こおりバナナという食べ方です。すごくおいしそう、名前でしょう。知っていましたか。わたしは、バナナチョコが一番好きです。だから、今度食べる時は、トッピングもして、過去最高のバナナにするからね。たのしみにしていてね。

『レンタルロボット』

おすすめの
相手 弟とよくけんかする人

延與晟一良（和歌山県）
智辯学園和歌山小学校5年生



『レンタルロボット』
滝井幸代/作 三木謙次/絵
Gakken

もし、弟とけんかをして腹を立てている人がいたら、この本を読んでほしいです。この本は、一人っ子の健太が「弟ロボット」のツトムを買うところから始まります。見た目も考え方も人間そっくりのロボットです。念願の弟を手に入れた健太ですが、ある理由から弟を返品してしまいます。健太は後かいますが、ツトムはもうもどって来ません。この本を読むと、「もし自分の弟がロボットだったら…」と考えることができます。ぼくにも弟がいて、ささいなことでもけんかをします。「腹立つなあ。」と思うこともしばしばです。でも、この本を読むと、「弟がロボットじゃなくて良かったー。」と心から思えてきます。弟にやさしい気持ちになれる、そんな一冊です。



『もぐらはすごい』

おすすめの
相手

畑仕事をするおじいちゃん

竹下陽翔 (島根県)

出雲市立多伎小学校6年生



『もぐらはすごい』
アヤ井アキコ/作 川田伸一郎/監修
アリス館

おじいちゃん、畑にもぐらが出てきて、野菜をダメにしてしまつてこまるつて、よく言っているよね。でも、もぐらつてすごい所がたくさんあるんだよ。大食いでも力持ち、鼻先にあるアイマー器官で、触つた物が何か知ることが出来るんだよ。地面や空気のわずかなゆれも感じるんだつて。目はほとんど見えないのにすごいよね。それにもぐらの子供は、生まれてすぐお母さんの巣を出て、自分の住みかを探すんだつて。ぼくには無理だよ。

野菜をダメにするのはこまるけど、『もぐらはすごい』という本を読むともぐらがかわいく思えてくるから不思議だよ。とは言つても、うちの畑は通らないでね、と思つてしまふけどね。

『minimofu toy のフェルトで作る、 12ヶ月の飾り』

おすすめの
相手

さいほうがいやだなくと
思っている人へ

西江志月 (岡山県)

英数学館小学校5年生



『minimofu toyのフェルトで作る、
12ヶ月の飾り』
minimofu toy/著
発行：アップルミンツ (E&Gクリエイツ)
発売：日本ヴォーグ社

ぼくは、スポーツが大好きだから、家庭科のさいほうはいやだなくと思つていた時、『フェルトで作る、12ヶ月の飾り』に出会つた!! ページをめくると、6月のページにある、てるてるぼうずが「ぼくを作つて。」と声をかけてきて、ぼくのむねはおどり出した。作り始めると、実物大型紙やぬい方の説明ものつているから、初めてでもかん単!! でも、ぬい目がボコボコ、すき間からわたがひよつこり出たりして下手だけど、自分が心をこめてぬつたから、今にも動き出しそうなかわいさで、本よりもだんとつキラキラしたマスコットができた!! 男子・女子・子ども・大人関係なく、世界に一つだけのキラキラ作品をみんなでおもうよ!!



『ようかいサッカー』

すすめたい
相手 建さん

山川絵舞 (岡山県)

英数学館小学校5年生



『ようかいサッカー』
間かせ屋。けいたろう／文
ひろかわさえこ／絵
ポプラ社

建さんは私の元気な弟です。誰も知り合いないサッカーチームで、サッカーをがんばっています。

この本をすすめたい理由は、ひとつめこぞう君のように、やってみたい気持ちやお友達に対する声かけを大切にしてほしいと思ったからです。

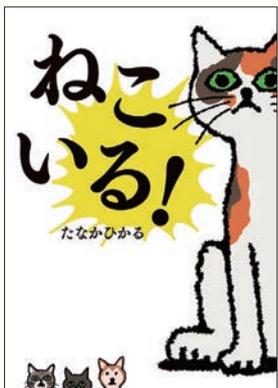
建さん、サッカーってチームプレーなんよ。この本読んでみて？ それぞれに個性や特技があるけど、ひとつめこぞう君の声かけで全てが始まったんよ。良いチームなんよ。もつと話したい所だけど、本当に読んでみてほしいので、今日はここまでしておくね。これからも、サッカーをいっぱい楽しんで、どんどん上手になってね。応援しているよ。

『ねこいる!』

すすめたい
相手 春に生まれたばかりの
いこい

水ノ上怜奈 (広島県)

英数学館小学校4年生



『ねこいる!』
たなかひかる／作
ポプラ社

私は今ある作戦を企てています。それはいとこを私と同じ猫好きにするため、猫の絵本を読み聞かせること。おばさんは犬好き、おじさんは豚好きなので、このままでは犬か豚好きになってしまいます。大変です。どの本が良いかなと本屋さんで探して出会ったこの本『ねこいる!』は、思いがけないところに猫がかくれている、とにかく楽しい絵本です。私はもう絵本は卒業したつもりでしたがとんでもない! 猫探しに夢中になりました。こんな面白い絵本があったなんて! これならいとも飛びつくはず。昨日初めて読み聞かせたら、いとこは絵本の内容よりも食感が気になったようで、夢中で角をかじっていました。猫好きへの道のりは長いです。



『思いはいのり、 言葉はつばさ』

おすすめの
相手
全ての連絡にLINEを
活用している人

山本あさひ（山口県）

山口大学教育学部附属山口小学校6年生



『思いはいのり、言葉はつばさ』
まはら三桃／著 まめふく／装画
アリス館

歪んだ価値観を持つ男社会に支配され、女性が文字を書く事も許されなかった時代の中国で強く生きた女の子チャオミンが主人公。

文字や表現する事が奪われた時代を耐え忍ぶしかなかった女性達はそれでも自分達の想いを伝える為女性同士だけで通じる文字を使っていた。文字というものに想いを託したチャオミンは、書く事を支えに苦難を乗り越えていった。

女性が文字を書いたり表現したりする事が自由な現代だからこそ、一文字一文字に想いを馳せて書ける事に感謝したいと思える一冊。

スマートフォンの普及により、大切なメッセージもLINEで済ませている人に、この本を読んでもらいたい。皆さん、大切な誰かに手紙を書いてみませんか。

『大人も知らない？』

ふしぎ現象事典』

おすすめの
相手
本を読むことが
あまり好きじゃない人

山本佳汰（山口県）

周南市立今宿小学校5年生



『大人も知らない？ふしぎ現象事典』
「ふしぎ現象」研究会／編
ヨシタケシンスケ／絵
マイクロマガジン社

あなたはなんでこうなるんだろうと思ったことはありませんか？例えば「かき氷を一気に食べると頭がキーンとなる」のはなぜか。この本は、誰もが一度は疑問に思ったであろう現象がたくさんあります。ふりがながあり、文字が大きく、解説は短くてとてもよみやすいです。しかも、どの現象にもコラムというちょっとした雑学があります。「かき氷」の話だと、いたみの止め方がかかれていました。

〇〇効果、〇〇現象など知っているとちょっとかっこいいなと思います。

本ぎらいの僕が、興味をもって最後まで一気に読みました。しかも誰かに教えたくなる内容がたくさんつまっています。本ぎらいの人にこそおすすめの1冊です。



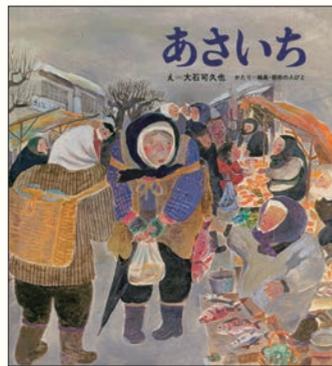
『あさいち』

おすすめの
相手

能登半島地震で
被災された方々

長島慧 (香川県)

坂出市立金山小学校5年生



『あさいち』
大石可久也/え
輪島・朝市の人びと/かたり
福音館書店

今年のお正月に、能登半島で地震が起きたとニュースで知って、ぼくは息をのむほどおどろきました。ぼくは石川県に行った事があるので、とても胸が痛みました。被災された方々に元気になってもらいたいと思って、『あさいち』を選びました。

この本は活気ある輪島朝市の様子を描いた本です。家族の様に親しみをこめて、能登の方言で会話をしているところが心が引かれました。本の中では、新鮮な魚や山菜、花、時には生まれたばかりの子犬も並んでいて、命のつながりを感じました。

能登半島地震で被災された方々が、『あさいち』の様な活気ある輪島朝市を取り戻して、くれることを強く願っています。

『感染症を正しく学べる！』

はたらく細胞

ウイルス&細菌図鑑

おすすめの
相手

病気のみいちゃんへ

谷村心優 (愛媛県)

愛媛大学教育学部附属小学校6年生



『感染症を正しく学べる！』
はたらく細胞 ウイルス&細菌図鑑
講談社/編 シリウス編集部、
はたらく細胞製作委員会/監
講談社

みいちゃんの病気が分かったのは、私が四年生の時です。この病気を治すには、ものすごく身体に負担がかかる薬を投与しなくてはいけませんでした。その時、私はこの本に出会いました。この本には体の免疫細胞たちが病気とどのように闘っているかを詳しく教えてくれています。笑うことで免疫細胞が活性化し、免疫力をアップする細胞もあります。みいちゃんは私がおもしろいことを言うとツボが浅いのでいつも涙を流しお腹を抱えて笑ってくれます。私は辛そうなみいちゃんを見て、少しでも元気になって欲しいと毎日笑わせていたのは、とても意味があったんだなと思いました。だから、この本を読んで今後も病気に負けずがんばって欲しいです。



『おだんご先生のおいしい！ 手づくり和菓子』

〔秋〕

おすすめの
相手 便秘でなやむお母さんへ

宮本桃愛（愛媛県）

愛媛大学教育学部附属小学校4年生



『おだんご先生のおいしい！
手づくり和菓子 <秋>
ほっこり 木の实のカステラ』
芝崎本実／作 二木ちかこ／絵
童心社

私は和菓子が大好きです。だけど自分で作ったことはなく、私でも作れそうなレシピはあるかな、と思います、この本を手に取りました。その中でも、私が気になったのはさつまいものレシピです。私は、そのレシピをお母さんにささげたいのです。なぜなら、私のお母さんはいつも便秘になやまされているからです。楽しく料理のレシピが書かれてあるこの本を読んで、私も一緒にさつまいも料理を作って、お母さんの便秘解消のお手伝いがしたいです。それに、この本には食材のマメ知識もたくさんのもっている、楽しく学びながらおいしいお菓子も作れて、一石二鳥です！！

お母さんも大好きなさつまいもレシピで、頑固な便秘よ、治れー!!!

『産婦人科医 宋美玄先生の 生理だいじょうぶ ブック』

おすすめの
相手 生理に困っている人

田中陽麻里（福岡県）

飯塚市立飯塚小学校6年生



『産婦人科医 宋美玄先生の
生理だいじょうぶブック』
宋美玄／監
小学館

「生理は妊娠のための準備で、恥ずかしいことではないんだよ。」
私はこの言葉に救われました。この本を読む前は、生理になったことを友達に知られたら恥ずかしい、とっていました。先生にも言えず、どうしたものかと思っていたときに、お母さんがこの本を買ってきてくれました。私はこの本の言葉に勇気をもらい、友達に話すことができました。すると、その友達も実は生理が始まっていたんだ、と話してくれたのです。それを聞いて、私だけじゃないんだ、ととても安心したのを覚えています。なので、この本を生理に困っている人におすすめします。きっとこの本は、あなたに寄りそってくれるはずですよ。



『台風 の サバイバル』

すすめたい
相手 パパ

後藤 埜花 (長崎県)

みやまの森学園みやまの森学童クラブ4年生



『台風の日 サバイバル』
洪在徹／文 鄭俊圭／絵
朝日新聞出版

パパは、いつも台風が来る時、窓にバツ印にテープをはっているけど、本当は窓わくの間にテープで固定した方がいいよ。そしたら割れにくいし、新聞紙をぬらして窓にはつても、割れた後、ガラスの破片がちらばりにくいよ。

そして、ぼうさいリュックの用意はしてる？
いつさいがいが起こるかわからないから、ぼうさいリュックの中に、かい中電灯やかんづめを入れておいてね。もし入れてなかったら、わたしも手つだから。この本と一緒に読んでパパとわたしで家族を守ろうよ。

どうして新聞紙をぬらして窓にはると、破片がとびちりにくいかは、読んでからのお楽しみ。

ぼくは、いつもお母さんにおこられています。「けんかしない。早くおきなさい。かたづけしなさい。」

一日中おこられて、うるさいな、いやだなと思うことがあります。

初めてこの本を読んだ時、主人公も同じようにおこられていて、おもしろくてわらってしまいました。話の最後に、お母さんが「おこってもきらいにならない。」と言って、だきしめたので、うれしくなりました。ぼくのお母さんも、

この本を読むと、いつも

「大好きだよ。」

と言って、ぎゅうつとしてくれます。ぼくも、お母さんが大好きです。いつもお母さんにおこられている君、安心しておこられて下さい。

『おかあさんは おこりんぼう せいじん』

すすめたい
相手 いつもお母さんにおこられている人

具志川 葉大 (沖縄県)

久米島町立久米島小学校5年生



『おかあさんは
おこりんぼうせいじん』
スギヤマカナヲ／作・絵
PHP研究所



中学生の部



作品は入賞者の居住地の都道府県コード順、同一都道府県内は氏名の五十音順に掲載し、入賞者の敬称は略しました。

『世界の歴史』

366』

自分の誕生日に
世界で何が起こったか
知りたい人
すすめたい
相手

北野菜々子（シンガポール共和国）
シンガポール日本語補習授業校 小学部6年生



『世界の歴史366』
祝田秀全／監
主婦の友社

この本は、世界で何が起きた日なのか、一コマまんがやクイズ、間違い探しと共に、一日一ページで紹介されています。私の誕生日は人が暗殺された日で、母の誕生日は戦争が始まった日でした。母は「どうせなら平和条約が結ばれた日の方が良かったわ」と言っています。歴史を変えることはできませんが、この本を読んで、気軽に歴史を知ることができます。ページをめくると、ふりがな付きの文章だけではなく、シンプルなおイラストが目に入ってくるので、見ていだけで楽しいです。全て同じような顔つきで人物が描かれているので、写真とは似ていないことがあり、心の中で「全然ちやうやん」とつぶやきながら、その本をながめるのはおもしろいです。

『むこう岸』

すすめたい
相手

なんのために勉強するのか
わからない人や、
自信をなくしている人

井下 田温美 (北海道)
千歳市立千歳中学校2年生



『むこう岸』
安田夏菜 / 著
講談社

この本は、自信をなくした中学3年生の少年が、苦しみを抱えている子達と関わるうちに、社会の理不尽さを知り、勉強することの意味に気づく姿が描かれています。

この本を読んで、評価されることが勉強することの目的ではなく、自分が得た知識を人のために生かすことが本当に大切なことなのだと、気づきました。成績に一喜一憂せず、自分のために学びを重ねて、人の役に立てる大人になりたい。と、強く思います。

読んでいて心が苦しくなるような場面もありますが、最後には温かい気持ちになります。あなたも、この本を最後まで読んで、和真、樹希、アベルが見つけた温かな希望の光を感じて下さい。

『最近、地球が暑くてクマっています。』

すすめたい
相手
日本国民

板野 遥斗 (北海道)
札幌市立栄南中学校3年生



『最近、地球が暑くてクマっています。』
水野敬也、長沼直樹 / 著
江守正多 / 監修
文響社

最近、地球が暑くてクマっているそのあなたにぜひとも読んでほしい一冊です。

この本では、地球温暖化に困っているシロクマが日本で行っている地球温暖化対策であるレジ袋の有料化の意味の無さや地球温暖化での日本への影響などをダジャレを交え面白かわいく説明してくれます。写真もたくさんあり飽きずに子供でも読みやすい本となっています。そしてこの本を読んでいくにつれ自分が何をしなければいけないのか、これから日本はどうならなければならないのかがわかっていくと思います。

ぜひ日本国民全員にこの本を読んでもらい地球温暖化への意識を変えてもらえればと思います。ぜひ読んでみてください。



『金の角持っ 子どもたち』

すすめたい
相手

受験生または
元受験生の人達

岩瀬菜那（北海道）
立命館慶祥中学校2年生



『金の角持っ子どもたち』
藤岡陽子／著
集英社文庫

私は受験生の時を思い出したくない。なぜなら、その時私は自分のことしか考えていなかったからだ。私は常に機嫌が悪く、母や姉などにいつも怒っていた。しかし中学生になった今この本を読んで後悔している。この本は小学生の男の子が受験をする話だ。母目線で書かれている、あの時母はこんな感情だったのか、私が何も考えないで勉強していた時も、母や父は自分が知らない壁にぶつかっていたのではないかと考える。この本を読んだ私は、勉強を頑張ることがができる。今は受験生ではなくても読んでみてほしい。とても感動する。この本を読んで、家族からの支えがあるから勉強できていることに気がつき、忘れないでほしい。

『ことばハンター 国語辞典はこうつくる』

すすめたい
相手

国語辞典を
引いたことがある人へ

小栗直己（北海道）
札幌市立札幌苗中学校2年生



『ことばハンター
国語辞典はこうつくる』
飯間浩明／著
ポプラ社

皆さんは、「やばい」という言葉を使ったことはありませんか。多くの人があると思います。しかし、その語源は？と問われると答えられる人は少ないと思います。普段何気なく使っている、実は違う意味で使っているかもしれません。この本は、一度は開いたことがある「国語辞典」のつくり方が書かれています。前述の「やばい」の他にも面白い言葉や例がたくさん載っています。この本を読み終えた後に国語辞典をめくってみると、新しい視点で言葉を知ることができると思います。言葉は、とても面白いです。この本を読み、国語辞典の言葉の奥深さを味わってみてください。



『森は生きています』

すすめたい
相手 県民のみなさま

菅原結音 (福島県)

福島市立岳陽中学校2年生



『森は生きています (新装版)』
富山和子/作 大庭賢哉/絵
講談社青い鳥文庫

今、私の町で、山を切り開いて太陽光発電パネルが設置され、景観や自然環境の破壊が話題になっていきます。再生可能エネルギーなんだからいいんじゃないか、と思っっている方、山を切り崩す、森をなくす、木を無計画に伐採してしまふことの恐ろしさを知らないのでしょうか。私のおすすめ本は『森は生きています』です。山が、森が、木々がどれだけ日本人の生活を日本列島の暮らしを守ってきたか、子ども向けの言葉ではありませんが、だからこそ大事なことを丁寧に書いてあります。森の役割、しくみを説明した本、といえばシンプルですが、この日本に住んでいる私たちが必ず知っておかなければならないことだと確信しています。ぜひ読んでください。

『しんでくれた』

すすめたい
相手 今を、「食べて」
生きる者たちへ

高橋美衣 (福島県)

福島市立岳陽中学校2年生



『しんでくれた』
谷川俊太郎/詩 塚本やすし/絵
佼成出版社

「しんでくれた」誰が？ 「しんでくれた」なんですか？ 「しんでくれた」誰のため？ 「しんでくれた」は人間のために死んだ生き物たちに谷川俊太郎が紡いだ言葉だ。もし、牛や豚が自分の運命を知っていたとしたら？ そう考えたら、私は心をギュッと潰される。「家畜はそこまで考えない」と言う人もいるだろう。しかし、我々は動植物の命を頂かなければ生きていけない。だから、その生き物の「ぶん」まで生きることが私たちのために「しんでくれた」生き物たちにできる最大限の恩返しだと私は思う。飽食の時代、簡単に食べ物を捨ててしまう今、当たり前前の裏で誰かが犠牲になっていること、当たり前前は当たり前ではないことをこの本は気づかせてくれる。



『マイクラフト なぞの日記』

おすすめの
相手
ゲーム好きな弟

田中梨友（茨城県）
東海村立東海南中学校3年生



『マイクラフト なぞの日記』
ムア・ラファティ／著
金原瑞人／訳
竹書房

「弟よ、ゲームのやり過ぎだ。」
毎日思っていることです。別にゲームを楽しみ分なら構わないと思います。私も好きなので。そこで、この本をおすすめしたいです。丁度私が弟と同じ年に読み始めたシリーズです。この物語は、マイクラならではの武器や防具を使ったバトルやしかけが出てくる冒険ものです。ゲームをプレイしているような躍動感を楽しみながら、活字を読めて、一石二鳥ではないでしょうか！ いつもゲームをやっている一時間の代わりにこの本を読んでほしいところです。
弟よ、本の世界のゲームを楽しんでみないかい。

『推し、燃ゆ』

おすすめの
相手
私のことを「オタク」と
笑うクラスメイト

塚原佳那子（茨城県）
江戸川学園取手中中学校2年生



『推し、燃ゆ』
宇佐見りん／著
河出文庫

この本の主人公は、熱狂的なアイドルのファンだった。しかしその「推し」は炎上し、結婚をほのめかしながら引退してしまう。生きづらさを抱えていた彼女にとって、推しは人生の全てだった。そんな推しがいなくなって、彼女の生活はどんどん沈んでいく。
私にも「推し」がいる。推しはパワーの源だ。どんなに疲れていても推しの歌を聴くと「まだまだ頑張れるぞ」と思う。「推し活」を人生の全てにしてしまうのは危険かもしれない。しかしそれが多くの人に生きがいや幸福を与えてくれるのも事実だ。推し活をする「オタク」は今では世界に通用する文化となっている。こんな素晴らしい推し活を、まだやっていないなんでもったいない！



『あかいふうせん』

おすすめの
相手

本が嫌いな人

永山 結栴 (茨城県)

東海村立東海南中学校2年生



『あかいふうせん』
イエラ・マリ/作 渡辺茂男/解説
ほるぷ出版

本を読むのが嫌いな人はたくさんいると思います。理由はそれぞれあると思いますが、私も本を読むのは好きではありません。そんな人に私は文字のない絵本を推薦します。この絵本はあかいふうせんと細い黒い線しか描かれていません。文字は無いので、自分の想像で物語が進んでいきます。絵の少ない小説と文字の無い絵本はどちらも想像で、景色をつくりたり物語をつくりていきます。私は、文字を読むことが苦手なので本が好きではありません。なので、あかいふうせんを見て、自分で物語をつくり、想像をふくらませて絵本を楽しみます。本が嫌いなあなたも、ぜひこれを読んで、絵本のおもしろさ、楽しさを体験してみてください。

『戦国姫 落城の姫君たち』

おすすめの
相手

歴史が苦手な人

若菜 瑞生 (茨城県)

江戸川学園取手中学校3年生



『戦国姫 落城の姫君たち』
明智光秀の娘・倫姫、
石田三成の妻・うたほか』
藤咲あゆな/作 マルイノ/絵
集英社みらい文庫

ひなちゃん、戦国時代といえどどんな偉人を思い浮かべますか。織田信長のような戦国武将でしょうか。私の場合は、戦国武将を陰で支えた姫たちのことを思い浮かべます。表舞台にはあまり出ていなかったのですが、戦国時代に生きた女の人のことはよくわからないかもしれませんが、そこで、ひなちゃんにこの本をおすすめします。この本は自分が住んでいた城が落城してしまつた姫たちの物語で、話が姫たちの目線やかかれてるので、親近感を持って物語を読み進められるはずです。すらすら読んで、背景の歴史も一緒に覚えられますので、ぜひ一度読んでみてほしいです。歴史が苦手なひなちゃんにも、歴史の面白さを知ってもらいたいです。



『青い鳥』

おすすめの
相手 人と違うことに悩む人へ

下河邊仁菜 (埼玉県)

頌栄女子学院中学校2年生



『青い鳥』
重松清／著
新潮文庫

この本は言葉が上手くしゃべれない村内先生が人と違うことに悩む生徒達に大切な事を教える話だ。私にとってこの本は小4の時に出会って以降、辛いと思った時に読み返す、お守りのような存在だ。この本を読んでいると本の中の村内先生が自分に話しかけてくれる気がする。人と違う、普通じゃない事を村内先生は笑ったりしない。むしろ、そういう人にこそニッコリ笑って話しかけてくれる。私は日々、学校という箱の中で生きている。それは時に普通を求められている気がする。友達がいる、赤点を取らない、学校へ行く。そんな普通に疲れることはないだろうか。そんな時にこの本の村内先生に会いに行ってみて欲しい。きっと寄り添ってくれるはずだ。

『千年の田んぼ』

おすすめの
相手 新しい物好きな人

並木明日花 (埼玉県)

越谷市立武蔵野中学校3年生



『千年の田んぼ』
国境の島に、古代の謎を追いかけて』
石井里津子／著
旬報社

この本では千年以上も続く田の謎を追っていくにつれて、昔の人の努力や工夫を受けつぎ、それを継承して今日まで伝えていくことがどれだけ素晴らしいことかを教えてくれる。私は効率や技術の発展のためなら、従来のやり方や考え方を真新しく変えたほうが良いと思っていた。だがこの本に出会い、新しく便利な物にはかえられない、昔の人々の思いが詰まった技術や工夫は守られるべきかけがえのないものだと感じた。

自分の利益や発展だけを追求して未来へと歩むのではなく、時には立ち止まり、昔を振り返るとまた新しい発見がきつとある。新しい物好きなあなたへ。千年前の田の謎を解き明かしながら昔を見つめてほしい。さあ、手に本を。



『セカイを科学せよ!』

おすすめの相手
小学三年生の自分

吉村月絆 (埼玉県)
越谷市立武蔵野中学校3年生



『セカイを科学せよ!』
安田夏菜 / 著
講談社

今自分について悩んでいるあなたに、この本をすすめたい。周りからハーフについて色々な事を言われて苦しんでいるのではないか。この物語もあなたと同じミックスルーツの子が出てくる。最初はハーフだからと周りから浮いていた二人が同じ部の人と科学を通してお互いを理解し少しずつ協力する話だ。私はあなたにこの話に出てくる子のように、自分に正直に、自分の意見を言えるようになってほしい。そして、クラスメイトと面と向かって話し互いの本質を知り合ってほしいと思う。それでも周りから浮いてしまうことがあった時も疎外感を感じず、ありのままの自分を好きでいること、大切にすることを忘れず少しずつ前向きに頑張り続けてほしい。

『ラスト・イニング』

おすすめの相手
野球部の一年生のみんな

開田蒼右 (千葉県)
市川市立第七中学校1年生



『ラスト・イニング』
あさのあつこ / 著
KADOKAWA

※現在は角川文庫より発行。
カバーデザインは異なります。

僕たち野球部の一年生はそろそろ一年生大会が近づいている。実力としては上手な人や初心者の人など様々だ。その中で、野球で勝つための一つとして「チームワーク」が大切だと思う。そのチームワークの大切さが分かる本だ。この本では登場人物同士のチームワークや仲間を大切にする姿など僕らがこれから大切にすべき事がたくさん書いてある。そして、話のストーリー性も面白く、読み飽きない本となっている。野球部の一年生たちはこれから約二年間、野球を共にする事になる。その中でこの本を読んで改めて「仲間の大切さ」を感じてもらえたら嬉しい。そして近々ある一年生大会でもチームワークを大切にして絶対勝てるようにこれからも共にかんばろう!



『世界は「」で沈んでいく』

おすすめの
相手
六年生のときの自分へ

杉山 結花 (千葉県)
流通経済大学付属柏中学校1年生



『世界は「」で沈んでいく』
櫻いいよ/著
PHP研究所

六年生のときの自分はどのようにして無理して笑っていたのだろうか。周りに合わせてヘラヘラと。ただ辛いなに。私はこの本にとっても共感した。友達を作るのが苦手という理由で「陰キヤ」といわれたりする。どうして。一人の時間も大切。私は自分の気持ちをうまく伝えられない。たくさん陰口を言われた。学校に行きたくない。そんな時に助けてくれたこの本。同じ状況にいる主人公。この本が大好きになった。誰かに相談していいんだ。すごく心が軽くなった。友達が少ないからといっておかしいわけじゃない。無理しないで。自分らしく。生きよう。私の心の支えとなったこの本。ありがとう。

『桃尻語訳 枕草子』

おすすめの
相手
古典になじみのない
中学生

戸谷 柊一 (千葉県)
市川中学校1年生



『桃尻語訳 枕草子 (全3巻)』
橋本治/著
河出文庫

みなさんは『枕草子』にどんな印象を持っていますか。僕は昔のすごい人が立派なことを書いた本、くらいに思っていました。この本を読んで、考えが変わりました。

この本では、現代の若者が使うような言葉で『枕草子』が訳されています。まるで女子高生がSNSに日々の生活を書いているようで、清少納言に対して少し親近感がわきます。

例えば第二十五段の「イライラするもの!」では、長話をする客やお年寄りに対する不満や愚痴を書いており、現代人に通じるところがあると思えました。

古典に対してとっつきにくい印象がある人は、この本を読めば古典を身近なものに感じられるのではないのでしょうか。



『狐笛のかなた』

おすすめの
相手 独りぼっちのキミへ

秋葉筑紫 (東京都)

頌栄女子学院中学校3年生



『狐笛のかなた』

上橋菜穂子／作 白井弓子／絵
理論社

小学生の頃、私には全くと言っていいほど友達がいなかった。そんな時に、学校の図書室の誰も見ないような隅に置いてあったポロポロのこの本に出会い、私を救ってくれた。この本を読んでいた時だけ、主人公たちが生きていた世界に飛び込み、現実から逃げられるような心地がした。もしこの本に出会わなかったら、閉じこもったままで、今が楽しくなかったかもしれない。

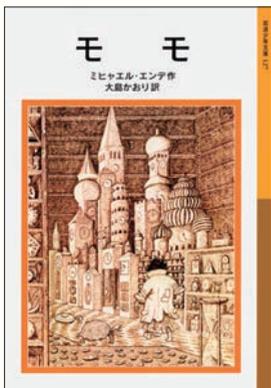
この本を独りぼっちのキミへ送りたい。時には正面から孤独に向き合う必要がある。しかし、たまにはこの本を読んで現実逃避をしてみても良いのではないか。そうすれば、いつか心の底から笑える日が来るはずだ。いや、絶対に来る。なぜなら、私には来たから。

『モモ』

おすすめの
相手 二十七年後の自分

池上恵生 (東京都)

頌栄女子学院中学校2年生



『モモ』

ミヒャエル・エンデ／作
大島かおり／訳
岩波少年文庫

四十歳になったあなたは充実した毎日を送れていますか。仕事やお金など、目に見える価値に振り回されて、人間の価値や豊かさを忘れてはいませんか。もし人生を楽しむ余裕を見失ったら、『モモ』を読んで下さい。そして掃除夫ベツポの言葉を読み返して下さい。「とても長い道路の掃除を一度に全部やろうとするとしんどくなるが、次のことだけを考えて一歩一歩進めば、どんなに苦しいことも次第に楽しめるようになる。」を。十三歳の私は、この言葉のメッセージを「目の前にあるやるべきことを一生懸命やること、そしてそれを楽しむことが人生を楽しむ秘訣である。」と受け止めました。四十歳になったあなたはこの言葉をどう受け止めますか。



『運転者』

おすすめの
相手

運を単に良い悪いで
捉えている人へ

稲田愛実 (東京都)
光塩女子学院中等科3年生



『運転者 未来を変える過去からの使者』
喜多川泰 / 著
ディスクカバー・トゥエンティワン

あなたは「運」を良いか悪いかで考えていないだろうか。もしそうなら、ぜひこの本を読んでもほしい。この本は「俺は運が悪い」が口癖のある保険営業マンと一台の不思議なタクシーの運転手の物語だ。私は生まれつき耳が全く聞こえない。乳児の時に手術を受け、今は口話で生活している。聞こえない耳を持って生まれてきた私は運が悪かったのだろうか。危険を伴う手術を受け、言葉の訓練を何年もかけて行い、大勢の方に助けられながら努力を続け、そうして貯まった「運」を使う事で、私は今不自由なく生活できているのかもしれない。私はこの本を通して、そう考えられるようになった。喜多川さんの言葉は、なにかしらの光をあなたに与えてくれるだろう。

『自分の感受性 くらい くらい』

『永遠の詩(2) 茨木のり子』より

おすすめの
相手

人のせいにしてしまう人へ

岡田遵 (東京都)
青山学院中等部2年生



『永遠の詩(2) 茨木のり子』
茨木のり子 / 著
高橋順子 / 選・鑑賞解説
小学館

短い詩です。とりあえず一度読んでみてください。痛い所突かれたあとに思いましたか。大丈夫、僕もです。友人のせい、親のせい、社会のせい、学校のせい。しかもタチの悪い事に、人のせいにしてる自覚すらありませんでした。僕がこの詩をおすすめしたかったのは皆さんを落ち込ませる為ではありません。だって作者も人のせいにしてしまったからこの詩を書いているんですから。だから一緒に、人のせいにした後、その先を考えられる人になりましょう。自分の感情の後始末をつけられるようになりましょう。だからこの詩を心の片隅よりも少し真ん中あたりに置いておいてもらいたいのです。



『成瀬は天下を 取りに行く』

おすすめの
相手 人生を豊かにしたい人

岡本華奈（東京都
晃華学園中学校3年生）



『成瀬は天下を取りに行く』
宮島未奈／著
新潮社

もつと早くに出会いたかった。最強の主人公成瀬に、この本に勇気をもたらったから。「可能性を楽しむ」。これこそが人生を豊かにする第一歩であると教えてくれた成瀬。中二の私は自分で自分の心を傷つけていた。何かに挑戦もせず、何かが変わるのを待つだけだった。この本とは中三で出会った。成瀬の、やりたい事は即行動する姿、自分を貫く姿に衝撃を受け、憧れた。本のすばらしさを再び教えてくれた成瀬が大好きになった。読むと元気になる、読めば世界が変わる。そんな本だ。

可能性に賭けるのではなく、可能性を楽しむ。それが自分を大切に、人生を豊かにしてくれる第一歩だ。より多くの人が成瀬から元気をもらえますように。

『月の満ち欠け』

おすすめの
相手 生まれ変わりを
信じない人

越智七水（東京都
順天中学校3年生）



『月の満ち欠け』
佐藤正午／著
岩波書店

私はこの本を「生まれ変わりを信じない人」に薦めたいです。

この本は一人の女性が生まれ変わった後も前世に恋した男性を探し求める話です。私は今まで生まれ変わりなんて有り得ないと思っていたし、読後も信じていません。ですが女性の単に一途とは言い切れない執念のようなものや登場人物一人一人の細かな感情が、視点が変わりながら描かれていて物語の妙なりアルさを感じます。また何度も生まれ変わりを繰り返してやっと再会する二人のシーンがとても感動的で、読み進めるほど本の中の世界がまるで現実かのよう to 思えます。決して生まれ変わりを信じていなくても、だからこそその読み方や見え方があると思うので是非読んでみてください。



『ボクと、正義と、アンパンマン』

おすすめの
相手 父親

落井良行（東京都
郁文館中学校2年生）



『ボクと、正義と、アンパンマン
なんのために生まれて、
なにをして生きるのか』
やなせたかし／著
PHP研究所

私の父は僧侶という人の心を救う仕事をしている。この本はやなせたかさんのエッセイ本になっている。この本の中で「人生はよろこばせごっこ」という部分が心に残っている。また、この本によって、「アンパンマンのマーチ」について考えさせられた。愛と勇気、困った人を助けるアンパンマン。そんな姿を見ていると父を見ているようだった。お寺には色々な思いや悩みを抱えてくる人が多い。その人たちの心は父は救い続けている。そんな父にこの本を読んでもらいたい。

この本を読んでこれからも、アンパンマンのように悩んでいる人たちの悲しみを喜びに変え、たくさんの人たちの心を救っていつてもらいたいと思った。

『世界でいちばん透きとおった物語』

おすすめの
相手 電子書籍で読む人

三枝陽南（東京都
大田区立大森第七中学校3年生）



『世界でいちばん透きとおった物語』
杉井光／著
新潮文庫nex

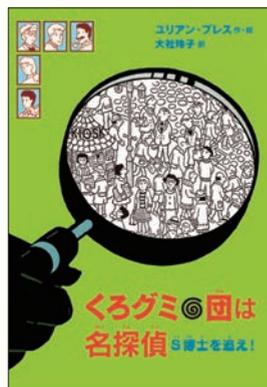
「紙の本でしか体験できない感動！」最近電子書籍で読んでいた私にとって、このキャッチコピーはとても刺さった。なぜなら今まで電子書籍と紙の違いがないと思っていたからだ。さらに言うと、一つの電子機器で何冊もの本が読める電子書籍のほうが、いつでもすぐに読むことができ、好んでいた。しかしこの本を読んで、紙の本の良さに気づき、好きになった。この本のすごいところは、紙の本ならではの特徴を活かした新しく斬新なトリックだ。このタイトルの意味がわかったとき、その余韻に思わず浸りたくなる。ぜひ、この本を読んでみてほしい。あなたも紙の本が好きになるだろう。



『くろグミ団は名探偵 S博士を追い!』

おすすめの
相手 『ウォーリーをさがせ!』が
好きな小学生

澁澤里南 (東京都)
吉祥女子中学校1年生



『くろグミ団は名探偵 S博士を追い!』
ユリアン・プレス/作・絵
大社玲子/訳
岩波書店

ウォーリーをさがすのが好きな小学生諸君!
是非この本を読んでみてくれ! 十分後には集中して周りの音も気にならなくなり、読後は少し賢くなっていることだろう。なぜならこの本は、ただの絵さがし絵本ではないからだ。まず、文章を読まなくてはならない。謎を解く手がかかりは文章にある。ヒントが散りばめられているが、全部を使うとは限らない。算数の問題でもあるだろう?! 最初に三人いました。後から二人来ました。最初から居た人だけで九つのお菓子を分けました。後から来た二人は関係ないのかーい、とつっこみを入れたくなるような問題が。この本を読み終えた時、こんな問題にひっかからない君が、きつというはずだ。

『こころのラリー』

おすすめの
相手 チームの
「キャプテン」である弟

下鳥真音 (東京都)
荒川区立尾久八幡中学校3年生



『こころのラリー』
卓球メダリストのメンタルに学ぶ
たくましく生きる22のヒント』
水谷隼、石川佳純/著
小学館クリエイティブ

弟には、『こころのラリー』を読んでほしい。弟は野球をやっている。しかし、この本を書いた水谷隼さん、石川佳純さんは「卓球選手」だけれども、「二つのことに夢中になっていること」は同じだ。また、弟は野球チームのキャプテンで、著者二人は、日本の卓球界を背負ってきた選手だ。背負うもの大きさは違っても、それを大切にしているという気持ちは、同じだと思う。

そんな弟に一番伝えたいことは、ヒント11「リスクある選択はゴールへの近道。だから、ぼくはみんなとちがう道を選ぶ。」というもの。チームのキャプテンとして、みんなと意見が食い違うかもしれない。それでも、弟が自分の道を貫き、夢への一步を進めますように。



『伝記シリーズ』

徳川15人の 将軍たち』

おすすめの
相手 完璧を求めてしまう人

上坊 寺条 太朗 (東京都)

豊島区立西池袋中学校2年生



『伝記シリーズ
徳川15人の将軍たち』
小沢章友／著 森川泉／絵
集英社みらい文庫

何事にも完璧を求めてしまっただけではないだろうか。完璧ばかりを追求しては心も体も疲れるばかり。

この本には、江戸幕府の十五人の将軍の人生が、彼らの特徴や個性とともにまとめられている。彼らの中には、積極的に政治を行った将軍もいれば、政治に口を出さず茶の湯や魚釣りを楽しんだ将軍や、言語不明瞭だった将軍もいる。幕府のトップに立っていて、完璧であったように思える将軍といっても、趣味に没頭していた人、軟弱だった人もいた。それでも、家臣から裏切られることはなかった。

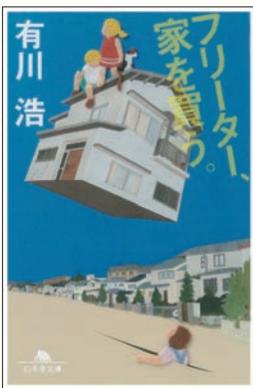
自分も昔は、何事も完璧でないといけないと思っていたが、この本は考え方を変えてくれた。ただの伝記と思わず、一度手に取ってみてはどうだろうか。

『フリーター、 家を買う。』

おすすめの
相手 大切な家族がいる人

大東 瑞季 (東京都)

頌栄女子学院中学校2年生



『フリーター、家を買う。』
有川浩／著
幻冬舎文庫

親に頼り自堕落な生活をしていた主人公が、母親の重い鬱病を機に母を救おうと懸命に生きる物語です。無関心だった父親、そして主人公本人が変化していきます。

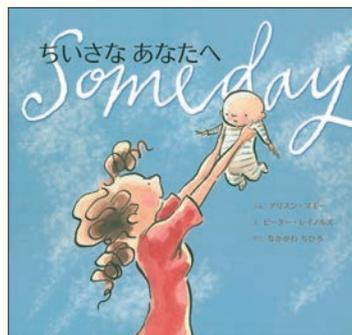
以前母が泣いた際、「母も泣く」そんな当たり前のことにはハッとしました。私にとって母は憧れで強い絶対の存在です。でも、その捉え方だけでは駄目だ。守ろう。この本を読み、そう感じました。そんな気付きをあなたも得てほしいと思います。家族に感情をぶつけてしまいたいそうな時、家族の立場で考えてみる。大切な人を守ることは？ この本を、そんなことを考える機会にはいかがでしょうか。そして、「ただ家族に甘える人」から「家族を守る人」へと自らを変化させてみてはどうでしょうか。



『ちいさなあなたへ』

おすすめの
相手
来年少生になる
はる(妹)へ

野津歩花 (東京都)
世田谷区立三宿中学校2年生



『ちいさなあなたへ』
アリスン・マギー／文
ピーター・レイノルズ／絵
なかがわちひろ／訳
主婦の友社

成長していくにつれ親と離れ、自分も親となりいずれお婆ちゃんになる。その時に親は…と人生の切なさを描いた絵本だ。

私とお姉さんが小さい頃読んでいたママの大切な本だよ。これを読んでお姉さんは泣いていました。はるはまだ読んだことがないよね。この本は命が繋げられることが書いてあるお話で嬉しいとか寂しいとかたたくさんの気持ちがぐるぐるするお話です。

まだ少し難しいと思うけれど、四月から一人で学校に通って、ちよつとずつお家から離れていくはるに今読んでほしい一冊だよ。

この絵本を読んだ妹が豊かな心の優しい子に育っていきますように。

『二木先生』

おすすめの
相手
「個性的」を
受け入れない人々

守屋仁花 (東京都)
開智日本橋学園中学校2年生



『二木先生』
夏木志朋／著
ポプラ文庫

ほとんどの人がAと答える質問を一人だけBと

答える人。あなたはこんな人をどう思いますか。

この世の中には社会に認められない個性がたくさんあります。そして社会に受け入れてもらえない人々はしだいに社会を受け入れられなくなるのです。

この本は、そのような境遇で生きづらい思いをしていた男子高校生がとある秘密を抱える教師とのやりとりを通して「どう個性と生きるか」を学ぶ話です。

私はこの本を読み終わったあと、前までは無意識に批判していたものを全く新しい視点から考えるようになりました。あなたもぜひこの本を読んで、自分の中に密かに住み着いている偏見を百八十度違う視点から見えて下さい。



『かくれ家のアンネ・フランク』

おすすめの
相手 戦争をしている国の
お偉いさん達へ

足立凜央 (神奈川県)
頌栄女子学院中学校3年生



『かくれ家のアンネ・フランク』
ヤニー・ファン・デル・モーレン/作
西村由美/訳
岩波少年文庫

私はあなた達に戦争をする理由を聞きたいです。領土のため、資源のため、宗教のため…？この物語の主人公は、第二次世界大戦中、ナチス・ドイツによって迫害されていたユダヤ人の少女アンネです。アンネは、戦時中の暗い世の中でも、胸にたくさんの夢や希望を抱いて生きた素敵な子です。きっと、あなた達の国にも、将来の夢や自由な世界への憧れを持っている子がたくさんいるでしょう。でも、気づいてください、あなた達の判断によって、一日に何千、何万個もの少年少女の希望が奪われていることに。領土、資源、宗教のため？ 戦いの勝利がもたらす平和のため？ この本を読んだ後のあなた達に、もう一度聞きます。その戦争の目的はなんですか。

『人がつくった川・荒川』

おすすめの
相手 都市計画、建築、
土木に興味のある人

水書 碧海 (神奈川県)
郁文館中学校1年生



『人がつくった川・荒川』
水害からいのちを守り、
暮らしを豊かにする』
長谷川敦/著
旬報社

私は『人がつくった川・荒川』という本を紹介します。私は将来、建築士になりたいと思っています。この本を読み、私は改めて都市計画と建築の関わりがとても大切だと気づきました。私が面白いと思った所は、時代が変わるにつれて人の手によって川が変化していったという所です。江戸時代以前の荒川は、よく氾濫していて人々を困らせていました。そこで、徳川家康が氾濫防止と江戸の町を作るため、船で荷物を運べるように川を改良しました。工業化の時代になると、工場での水が大量に使われるようになっていきました。この本は、都市の成長と荒川の変化の関係がとてもよく分かるので、都市計画、建築、土木に興味のある人に、この本をおすすめします。



『あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。』

おすすめの相手

戦争経験の無い若者すべて

森本翔太 (神奈川県)

桐蔭学園中等教育学校1年生



『あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。』
汐見夏衛／著
スターツ出版文庫

大切な人や家族を遺し無念な気持ちを抱えて
儚く空に散っていった特攻隊員。あの人達が命
を懸けて守った今の日本で、犠牲にした命の分
まで、私は精一杯生きているだろうか。家族や
友達がいて、勉強やスポーツに没頭出来る自分
はいかに幸せであるか、そしてこれは決して当
たり前では無いのだ、と自分を見つめ直す。現
代を生きていた百合が一九四五年を必死に生き
る中で感じた憤りや哀しみ…百合の気持ちが痛
いほど伝わり涙が止まらなかった。百合が惹か
れ恋をする特攻隊員の彰が最後どんな行動をと
るのか、想像を超える哀しみと感動が押し寄せ
た。みんなに読んで欲しい。二度と愚かな戦争
を繰り返さない為に。みんなが命を粗末にしな
い為に。

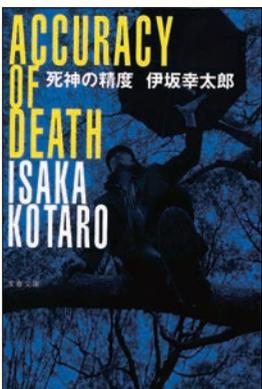
『死神の精度』

おすすめの相手

なんとなく一日を
過ごしている人

吉田晴帆 (長野県)

長野市立広徳中学校2年生



『死神の精度』
伊坂幸太郎／著
文春文庫

自分がいつ死ぬかなんてわからない。必ず長
生きするとも限らない。なのに大半の人は自分
は長生きできると信じて生きている。この本に
は八日後に事故死する予定の人の話が六つ出て
くる。この本の登場人物達のようにいきなり死
んでしまうことが自分に起こるかもしれない。
この本を読み私は、今まで自分の過ごしてきた
人生で満足することができただろうかと考え、
一日一日をなんとなく過ごすのではなく、目の
前のことに精一杯取り組んで生きていこうと思
った。人の死について書かれている作品なのに
爽快な気分で読み終えることができる。ぜひ、
なんとなく一日を過ごしている人はこの本を読
んでみてほしい。



『劇場版』

呪術廻戦 0 ノベライズ

おすすめの
相手

この物語を一回以上映画・
マンガで見たことがある人

神農はな（岐阜県）

川辺町立川辺中学校2年生



『劇場版 呪術廻戦 0 ノベライズ』
北國ばらっと／著
芥見下々／原作 瀨古浩司／脚本
集英社 JUMP j BOOKS

私が推せんするこの本は、映画のノベライズです。今、この時点で「映画を観たならこの本は読まなくてもいいんじゃないか」と思ったそのあなた。私がこのノベライズ本を推せんするのはそんなあなたです。それは、この物語を文章にしたときの良さが詰まっているからです。

例えば、映画やマンガでは沈黙が描かれているシーン。これらの作品で見たり聞いたりできるのはセリフや表情だけです。しかし、小説になるとその時の心情を文章で詳しく知ることが出来ます。こういった所が「文章にする良さ」です。映画・マンガにある「見たり聞いたりする良さ」を知っているあなたも「文章にする良さ」をこの本で知ってみてください。

『魔女の宅急便』

おすすめの
相手

魔法を使いたい人

高井菜々美（岐阜県）

川辺町立川辺中学校2年生



『魔女の宅急便』
角野栄子／著
角川文庫
※現在は新装版で発行。

この本を読めば誰でも魔法が使えるようになります。私もこの本を読んで魔法が使えるようになりました。主人公である魔女のキキはものすごい魔法を使えるわけではなく、ほうきで空を飛ぶことしかできませんでした。しかし、その長所を生かした宅急便をすることにしました。このようにキキは自分の得意なこと、好きなことを生かして生活をしています。これこそが魔法だと思います。そんなわけないだろうと思う人もいるかもしれませんが、でも実際に私は得意な変顔をして人を笑顔にすることができます。誰とでも楽しく話せる私は困っている人を助けることもできます。これは目に見えない魔法です。あなたもこの本を読んで魔法を使ってみてください。



『本当の

「頭のよさ」って なんだらう?』

おすすめの
相手

思春期真っ只中の人へ

小西湧悟 (静岡県)

静岡市立大里中学校1年生

「まったく、中学生になったんだからしっかりしなさい!」

はあ、また始まった。今やろうと思っていたのに……。中学生の君なら、この気持ち分かるよね。最近、イライラするとお母さんに伝えたら、この本を渡された。読んでみると、「反抗期に甘えるな、不機嫌は環境破壊だ。」と書いてある。感情に任せて言葉を放っていた僕の心に、グサリと刺さった。今起こっている戦争も、人々の不機嫌が伝染して勃発しているのかもしれない。この本は、大人になる為の心のレシピが満載だ。「頭のよさ」とは何か、という事を考える機会にもなる。日々のイライラを受け流し、頭もよくなって、一緒に思春期の荒波を乗り越えよう!!



『本当の「頭のよさ」ってなんだらう?』
勉強と人生に役立つ、
一生使えるものの考え方』
齋藤孝 / 著
誠文堂新光社

『地図でスツと頭に入る

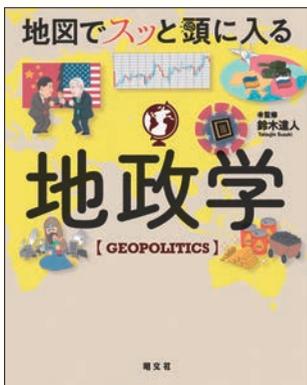
地政学』

おすすめの
相手

戦争をなくしたいと
思っている人

齊藤のどか (静岡県)

静岡学園中学校3年生



『地図でスツと頭に入る地政学』
鈴木達人 / 監修
昭文社

この本は、地政学を解説し、日々の時事の深い理解を助けてくれる。

あなたは、平和な世の中になってほしい、と切に願っているだろう。私もそう思っている。しかし、戦争をなくそう、と喚起しても、現実社会を知っていなければ何も力にならない。知識不足を実感し、この本を手にとってみた私は、たちまち地政学のとりこになった。各国の行動や思考を理解できるようになると、国際社会が身近に感じられて、戦争をなくすための手がかりがつかめるはずだ。

是非、戦争をなくしたいと思っっているあなたにこの本を読んでほしい。きっとページをめくる手が止まらなくなり、世界情勢を学ぶきっかけとなる。



『文豪 ストレイドッグス 1〜25巻』

おすすめの
相手 数年間薦めても
読んでくれない妹へ

山之口 柚希（静岡県）
島田市立六合中学校3年生



『文豪ストレイドッグス（1〜25巻）』
春河35／著 朝霧カフカ／原作
KADOKAWA

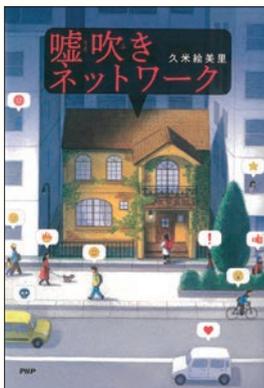
妹よ、姉は数年間言っているだろう、『文豪ストレイドッグス』（略して文スト）を読まないか、と。

魅力的なキャラ、楽しく切なく予測のできな
い深いストーリー、神がかった作画、これだけの
要素が揃っていて、なぜこの漫画を読まない？
実在の文豪の名や作品名が出てくるから、文
学作品にも興味が出て教養アップにも繋がるか
もしれないんだぞ。実際姉は文ストに出会い、文
学作品に興味を持ち、今では人生が変わったと
言っても過言じゃない。そして文ストは、繊細
な心理描写で綴られた小説もあるぞ。姉が一人
で、漫画や小説を読みながら、最高だと喚き散
らかしているの、知ってるだろ。一緒に読んで、語
り合おうじゃないか。

『嘘吹き ネットワーク』

おすすめの
相手 全ての嘘が悪だと思う人へ

藤嶋 凜（愛知県）
岡崎市立六ツ美中学校1年生



『嘘吹きネットワーク』
久米絵美里／著
PHP研究所

私はこの本を読むまで、嘘は絶対に人を苦し
める悪いものと思っていた。そう思っている人
も他にたくさん居ると思う。
でも、この本の「真実だって（人を）傷つけん
じゃん」というセリフを読んで、嘘が全て悪い
ものでもないのかもしれないと思った。この本
の登場人物も、それぞれが嘘になやんでいて、
それぞれの考えで嘘と向き合っている。いっ
私もそうありたいと思った。

現実でもネットでも、世の中は嘘であふれて
いる。もし、あなたが、真実か疑って、つかれ
ているのであれば、一度この本を読んで考えて
みてほしい。あなたがこれからどう嘘と向き合
っていかを決めるヒントがきっと見つかると思
う。

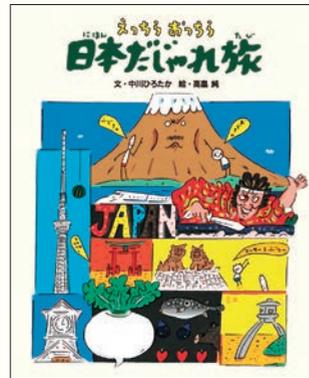


『えっちらおっちら』

日本だじゃれ旅

おすすめの
相手
入院生活を送る
従兄弟のみつくんへ

内久保愛生（滋賀県）
近江八幡市立八幡西中学校3年生



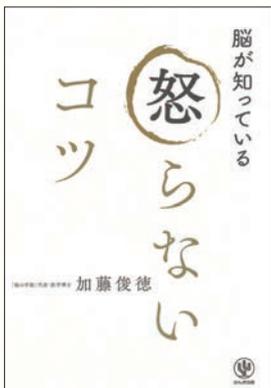
『えっちらおっちら 日本だじゃれ旅』
中川ひろたか／文 高島純／絵
絵本館

今年の春から小学校へ入学して、がんばって学校へ通っていたみつくん。少しがんばりすぎてケガをして入院することになってしまったね。ベッドの上でたいくつな時に『日本だじゃれ旅』という本を読んでみてね。まるで日本一周旅行をしている気分になれるよ。各地の名所や名物が、だじゃれを使っておもしろく紹介されているよ。いつきに都道府県はかせと、だじゃれ王になれるよ。ケガが治って退院して、また学校に通えるようになったら、人気者まちがいなし！ それから来年の夏休みは、みつくんがこの本の中で一番行ってみたいと思った都道府県へ一緒に旅行へ行こうよ。約束だよ！ みつくんのケガが早く治りますように。

『怒らないコツ』

おすすめの
相手
怒りっぽい人へ

森岡大貴（滋賀県）
M-I-H-O美学院中等教育学校3年生



『脳が知っている 怒らないコツ』
加藤俊徳／著
かんき出版

「喜怒哀楽」あなたはどれが一番大切だと思いますか？ 私は「怒」だと思います。なぜなら怒ることによって、何もかもが変わってしまうからです。例えば意見が認められず怒ってしまったことで交渉が決裂してしまったことです。そんな最悪の事態を回避するためにこの本をぜひ読んでほしいです。この本には怒らないためにはどうすればいいのかや、そもそも怒るとはどのようなことなのかを脳科学の観点から説明してあります。例えば気に障る相手をできるだけ視界に入れないようにする。又刺激から離れて脳が効率的に動くチャンスをつなぐなどです。これらは簡単にできることです。自分が怒りっぽいなど思っている人にこの本をおすすめします。



『はずれ者が進化をつくる』

すすめたい
相手 人生に
立ち止まっている人へ

居波明理 (京都府)
神戸女学院中学部1年生



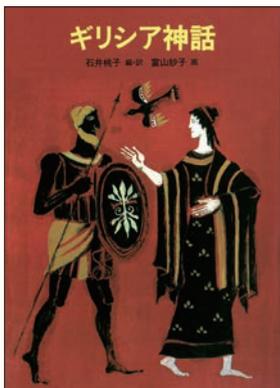
『はずれ者が進化をつくる』
稲垣栄洋／著
ちくまプリマー新書

今、悩んだり行き詰まったりしている人がいるなら、ぜひこの本を読んで、私のように心の負担を減らしてほしいと思う。私は、「周りとは比べず自分らしく」をモットーに過ごしているものの、やはり人との違いに戸惑うことが多々あった。しかしこの本と出会い、人との違いに思い悩む時間は、自分が進化するための貴重な時間なのだと捉えられるようになった。「雑草は、下に根を伸ばし、いつか花を咲かせる。」本書に表現されている言葉は、今の自分は「踏まれても踏まれても大切なことを見失わない」雑草であった事に気付かされた。こんな前向きになれる気持ちの変化を感じることができるとこの本を、私はあなたにすすめたい。

『ギリシア神話』

すすめたい
相手 別の世界を見てみたい人へ

笹凧 (京都府)
京都市立洛北中学校2年生



『ギリシア神話』
石井桃子／編・訳 富山妙子／画
のら書店

山びこはなぜ同じ声が返ってくるのか分かりませんが。現代の私たちは空気の振動が山でぶつかり跳ね返ってくるのだと知っています。しかし古代ギリシアの人々は、どうだったでしょう。科学が発達していない世界ではどう説明すればいいのか分からないはず。こうした今当たり前前と思っている事も、昔は当たり前ではなかったのです。山びこをはじめ、なぜ砂漠があるのか、なぜ人は火が使えるのかなどの今の当たり前前を創造的に書かれているのがこの『ギリシア神話』なのです。初めは僕も分からないまま読んでいたのですが、世の物事を意外な視点から考えている本だったので、すぐおもしろかったです。この本を読んで日常から脱け出し、別の世界を見てみませんか。



『小梅の七つの お祝いに』

おすすめの
相手

何か大きな不安に
押しつぶされて
しまいそうな人

青戸利歩 (大阪府)

清風南海中学校1年生



『小梅の七つのお祝いに』
愛川美也 / 著
講談社

相手に意図がなくても、意地悪をされた様に感じる事が重なって自分を大切にしてくれる人など誰もいないと感じることはありませんか。そんな経験のある人にこの本をお勧めします。この本は主人公をいつも陰で見守っている神様やお守りの牛が姉の受験や祖母の入院で前のように家族と楽しい時間を過ごすことができず寂しい思いをする主人公の前に現れます。最初は慣れない姿に戸惑う主人公も徐々に感謝の気持ちを示すようになります。

私は小さい頃母に亡くなったご先祖様が見守ってくれていると聞いたのを思い出しました。自分の気付かないどこかで見守ってくれる誰かがいると考えてみませんか。

『マンガでおぼえる コミュニケーション』

おすすめの
相手

幼稚園の頃の自分

久門敦史 (大阪府)

枚方市立杉中学校1年生



『これでカンペキ！
マンガでおぼえるコミュニケーション』
齋藤孝 / 著
岩崎書店

もしもし、昔の僕。元気になっていますか？ところで君は友達とうまくやっていますか。たまに強い口調で話すことがあったと思います。コミュニケーションが少し苦手な君に、びったりな本を紹介します。それが、これです。身近で起きることでどのように声をかけると良いかが簡単に学べます。君は友達にちよっぴり怖がられてた所もあると思います。今となっては友達が宝物である僕ですが、友達に、幼少期の僕は荒かったとよく言われます。なので言われないうちに、人をききつけられないようにしてください。段々成長して、環境が変わってくると、新しく友達もできるし、たくさんお世話になる人になるので、感謝を伝えてください。それでは友人第一でお願いいたします。



『あなたを閉じこめる 「ずるい言葉」』

すすめたい
相手 お母さん

下柳清人（大阪府）
関西大倉中学校1年生



『10代から知っておきたい
あなたを閉じこめる「ずるい言葉」』
森山至貴／著
WAVE出版

お母さん、これを読んでふだんお母さんが何気なく使っているずるい言葉をやめてほしい。「あなたのために言っている」とか「昔も同じだったから気持ちはわかる」とか。あまりばくのためにはなっていないし、昔と今の考えは違うから、今の考えを昔の考えと同じと思わないでくれないかな。

この本にはいろんな「ずるい言葉」が対話形式で紹介されていて発言した人の本当の気持ちや無意識に感じていること、その言葉を聞いた人の気持ちもていねいに解説してくれている。忙しくてなかなか本を読む時間のないお母さんでもすぐ読めると思う。自分がいつも言っている言葉だと気づいてほしい。そして言われたばくの気持ちをわかってくれー！

『レンタル家族』

すすめたい
相手 大切な家族を亡くした方へ

中辻希海（大阪府）
清風南海中学校1年生



『レンタル家族』
松本健太郎／著
双葉文庫

この話では大切な家族を亡くした人々が亡くなった人にそっくりの人間をレンタルし、もう一度暮らしていく。その中で亡くなった家族が遺してくれたもの大切さに気づけるようになる。

私は九年前に大好きだった祖父を亡くした。私が祖父をレンタルしたとすれば、ピアノを聞いてほしい。学校の話がしたい。一緒に遊びたい。想像が膨らむほど悲しみが増す。もう会えないと言われている気がする。

しかし、祖父が遺してくれたものは優しく私をはげましてくれた。買ってくれたスプーン。写真。一緒に笑ったあの瞬間。目には見えない大切な感情。この本を読んで蓋をしていた気持ちに向き合えた。この本を読んでよかったと思う。



『トムは真夜中の庭で』

おすすめの
相手 大人になることに戸惑いや不安を覚えている人へ

穀内柚芽（兵庫県）
神戸女学院中学部1年生



『トムは真夜中の庭で』
フィリパ・ピアス／作
高杉一郎／訳
岩波少年文庫

大人になるとはどういうことか、考えることはありますか。私はこの本を読んで、自分なりの答えを見つけました。大人になるということとは、今の私の年齢が置き換えられて昔の私がいなくなるのではなく、私の中に過去を生きたくさんの私が増えるということ。だから、無理に大人びて自分の中にある「子ども」の部分を消し去る必要はなく、いつまでも幼かった頃の自分を持ち続けて生きていけば良い。「永遠」の時はない中で、その時々にごす「時間」を大切に成長していきたいです。

大人になることに戸惑いや不安を覚えている人へ、真夜中に十三時の鐘がうつと現れる庭園へトムと冒険に繰り出して、自分なりの答えを見つけてみませんか。

『みえるとかみえないとか』

おすすめの
相手 平和を望む世界中の人たちへ

西上小百合（兵庫県）
神戸女学院中学部1年生



『みえるとか みえないとか』
ヨシタケシンスケ／さく
伊藤亜紗／そうだん
アリス館

皆は自分と違うなって人に会った時、どう思う？ 私は、自分を否定されたらこわいなと思ってた。この本はそんな私に勇気をくれた。みんなそれぞれ違う見え方や感じ方を持っているけれど、似てる所を探したり、違う所を教え合うことで仲良くなれるし、何より面白そう！それって実は難しいようでも簡単かもしれないよと、主人公が宇宙人とのやり取りを通して教えてくれる。障害があったり宗教が違ったり、自分と違うことを変だとか、かわいそうだと言ってしまうばそこで終わり。一緒に、分かる分かる！と言えることを探したり、へー知らなかった！ということを教え合えば、違う所も自然に受け入れられる、皆が居心地の良い世界になるんじゃないかな。



『老人と海』

おすすめの
相手

スポーツや好きな事を
がんばってる人へ

福田真央（兵庫県）

川西市立川西中学校1年生



『老人と海』
ヘミングウェイ／著 高見浩／訳
新潮文庫

私の中には、ある一つの疑問が残っていました。「老人はどうしてあんなつらい思いをしてまで、大魚に執着していたのだろう。」
読み進めると、どんな悪条件でもいい加減な仕事をするのを、老人の誇りが許さず、ただ無我夢中で誰のためでもなく、力の限り、より高い目標に挑戦しようとした。それがわかった時、私はこの勇敢な老人の生き方にどこからか力がわいてくるような温かい気持ちになりました。

私達の生活の中で、どんな成績をとったか、どんな仕事についているかなど大切なことかもしれないけれど、それだけでは表せない「自分」を育てる努力を忘れないようにしたいです。自分を信じて戦う勇気をもらせる一冊です。

『むこう岸』

おすすめの
相手

小学校の図書先生

山本明佳（兵庫県）

神戸女学院中学部1年生



『むこう岸』
安田夏菜／著
講談社

私は小学生のころ、クラスになじめず自分の居場所がないと感じ、学校が大嫌いでした。でもそんな私にも楽しみが一つだけありました。図書室です。図書の先生は優しく、本も読めて、私の唯一の居場所でした。ある日、先生にすめられ『むこう岸』を読みました。主人公に共感できたし、「探せ、おまえの真の居場所を。」という言葉に心を打たれました。そして今は中学校で楽しい生活を送っています。今の私があるのは、先生のおかげです。先生は内容を知っているけどもう一度この本を読んでほしいです。そして今できる最大笑顔でこう言いたいです。「この本を私にすすめてくれてありがとう。私の居場所をつくってくれてありがとう。」



『子どもが本当に思っていること』

おすすめの
相手 母へ

三浦來桃（島根県）
益田市立益田中学校1年生



『子どもが本当に思っていること』
精神科医さわ／著
日本実業出版社

中学生になってから、ささいなことで喧嘩することが増えたよね。言いたいこととか思っていることが上手く伝わらなくて、モヤモヤしたり機嫌が悪くなることも多くなったよね。だから、本屋さんでこの本を見つけたとき、真っ先に、母に読んでほしいって思った。この本は、自分の言葉じゃ上手く伝えられない部分や、言えなかった気持ちがあるまま書いてある、筆者曰く「子どもの心の声がわかる本」。特に読んでほしいところに、付箋をつけてるから、不安になったときにその付箋をたどってみてほしい。きっと母の心に響く言葉がたくさんあるはずだから。

『しかもフタが無い』

おすすめの
相手 読みたい本がない人

井掛あかり（広島県）
広島県立広島中学校1年生



『しかもフタが無い』
ヨシタケシンスケ／著
ちくま文庫

あってもなくてもこの本で私の人生は何も変わらない。感動する訳でもなければ好きが増える訳でもない。だけど私はこの本が大好きだ。どうでもいいことばかりが書いてある本。魅力的に見えないと思うが、そこがこの本の魅力である。少しの文字と少しのイラストであふれているから、読み応えもない。「あるなあ、こんなこと」というちょっとほっとできる、あってもなくてもいいけど、あった方が多分楽しくなる本。今、読みたい本がない人はぜひ読んでみてほしい。どうでもいいこともたまには大切なのだ。だまされたと思って一度手に取ってみてはどうだろうか。



『スイカのタネはなぜ散らばっているのか』

おすすめの相手 小・中学生

古川直生 (広島県)

広島市立瀬野川東中学校2年生



『スイカのタネはなぜ散らばっているのか』
——タネたちのすごい戦略——
稲垣栄洋／著 西本眞理子／絵
草思社

みなさんは、スイカの種をじっくりと見てみたことはありますか。スイカの種は、同じウリ科の植物であるカボチャやメロンのように中心にまとまっておらず、実の中に散らばっています。実は、これには理由があります。

野菜・果物・花などのこの世の植物の種には、いかに子孫を増やすかの戦略がそれぞれにあるのです。例えば、キウイをたくさん食べると口の中がチクチクするのも子孫を増やすための戦略です。

僕は、この本を読んでたくさん驚きとおもしろさで五回もこの本を読みました。何度読んでも発見があります。

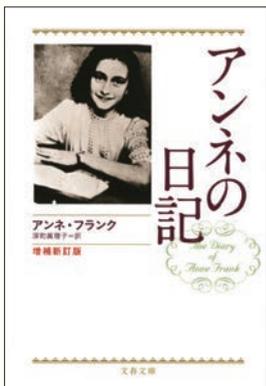
みなさんもこの本を読んで、身の回りの植物に目を向けてみることで新たな発見があると思います。

『アンネの日記』 増補新訂版

おすすめの相手 毎日平和だと信じているあなたへ

山口花 (広島県)

近畿大学附属広島中学校東広島校1年生



『アンネの日記 増補新訂版』
アンネ・フランク／著
深町眞理子／訳
文春文庫

あなたは毎日どこにも行けず、誰にも見つからないように注意し密室で過ごせますか？ アンネはそんな生活をずっとしていました。ユダヤ人だという理由だけで。アンネはこの日記に「わたしたちはつねにユダヤ人なのです。」と書いています。生まれは自分で選べない。差別していた人も、ユダヤ人に生まれていたらかもしれない。そんな「運」だけで差別されてしまう悲しさをありのままの感情で書いているのです。「今は差別はない。」本当にそうですか？ あなただって「くだからくだよね」と決めつけていませんか？ 何気ないあなたの一言が、「差別」になる。アンネの差別に対する悲痛な叫びを読めば、あなたの意識がきっと変わります。



『スタートライン』

おすすめの
相手 夢に向かつて
歩み続ける君へ

舟橋沙優（愛媛県）
愛光中学校1年生



『スタートライン』
喜多川泰／著
ディスカヴァー・トゥエンティワン

この本に出会えて良かった。読んでいるうちに自信が取り戻せる。「自分のやりたいことに挑戦する勇気を持った人」にどうしてもなりたかった。だけど、そんな人になるにはどうすればいいのか分からなくて、涙を流したことは秘密だ。この本に出会って、ヒントをもらった。「目の前にやってくるものをどう受け取るか」という言葉が心に残る。私は、この問題に対して間違った選択をしてきたと思ったその日から、逃げていない。逃げようと思った時、何度も読んだこの本が私の「戦友」だ。

君も、あきらめたい、逃げたいと思うことがきつとある。そんな時、君にこの本のページをめくってみてほしい。そこで得たものは歩み続ける原動力になる筈だから。

『生き物の死にざま』

おすすめの
相手 生き物博士になりたい弟へ

渡森瑛大（愛媛県）
愛光中学校1年生



『生き物の死にざま』
稲垣栄洋／著
草思社文庫

「死にざまに焦点をあてるなんて残酷だな。でも、目新しい生き物の雑学が得られるかもしれない。」軽い気持ちで手にしたこの本は、ただの雑学本ではなかった。生き物が厳しい環境下で、死を迎えるその瞬間までいかに懸命に生きているのか。「子孫を残す」というたった一つの目的のために…それがドラマチックに綴られていた。また、毎日のほほんとして生きている自分（人間）のために、その生き物たちの尊い命がどれほど犠牲になっているのか。もっと自覚しなければいけないと気付かされた本でもあった。

僕はこの本を弟に薦めたい。「生き物博士」を目指して図鑑ばかり読んでいる彼に、知識を詰め込むだけでなく、生き物への愛情と敬意を感じてもらいたいからだ。



『10歳の君に贈る、心を強くする26の言葉』

おすすめの相手
中学生になる、私の妹へ

里見美咲（高知県）

高知市立義務教育学校土佐山学舎9年生



『10歳の君に贈る、心を強くする26の言葉
哲学者から学ぶ生きるヒント』
岩村太郎／作
えほんの杜

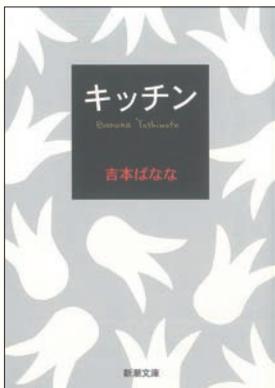
私の自慢の妹へ贈りたい本があります。本来は十歳の時に読むと良い本ですが、中学生になって「人生」を考え出す君に今一度読んでほしい、そんな本です。生きる上での、自分との向き合い方、友達との付き合い方、悪の捉え方など様々なヒントが詰まったこの本。ぜひとも人生のヒントを心に留めて君の生きやすい世界で生きてほしい。いつも君が私にしてくれる相談は、周りの目を気にしたものばかり。「私の喋り方って変じゃない?」「失敗したらどうしよう」と、自分に自信がない、心配性な君だけれど、私が贈る本で強い心を持ってください。大丈夫、あなたは皆に愛されてるよ!

『キッチン』

おすすめの相手
日常に疲れてきた人

金子弘美（福岡県）

福岡教育大学附属小倉中学校3年生



『キッチン』
吉本ばなな／著
新潮文庫

私はこの本を日常に疲れてきた人にすすめたいと思う。

この本は愛する人を失った悲しみと再生の物語である。内容だけだと、「おすすめの相手が違うのではないか」と感じる人もいるかもしれない。私がこのような人たちを対象に選んだ理由は、言葉のやさしさにある。疲れている時は誰かの言葉を受け入れるなど億劫だろう。だがこの本はスープのように温かく滑らかに体に入っていく。読み進めるにつれて悲しみの鋭さも味わうことになるが、それと同時に心に空いた穴が塞がっていく再生の柔らかさも感じられる。

疲れは消えないかもしれない。けれども、やさしさの味は私たちを温めてくれる。『キッチン』を読んで少し休憩してはいかがだろうか。



『草枕・二百十日』

すすめたい
相手 山によく登る人

深川 颯希 (福岡県)

福岡教育大学附属小倉中学校3年生



『草枕・二百十日』
夏目漱石／著
てぬぐい柄(株式会社かまわぬ)／装画
角川文庫

私が自然を旅するときには、必ずこの本を鞆に入れていく。この本と自然の澄んだ空気はすぐく合う。その理由は、印象画のような情景の表現方法にあるのではないか。例えば、「枝繁き山桜の葉も花も、深い空から落ちたままなる雨の塊まりを、しっぼりと宿していたが、この時わたる風に足をすくわれて、いたたまれずに、仮りの住居を、さらさらと転げ落ちる。」という文章。このような、主人公の感性の混じった情景描写は、伝えたいモチーフははっきり見えるのに、何となく抽象的。この感覚は、自然の空気との親和性がすごく高い。この本を買ったら、ぜひ、山頂など空気の澄んだ所で読んでみてほしい。

『私は私に時間をあげることにした』

すすめたい
相手 考えすぎて悩むあなたへ

藤田 瑞希 (福岡県)

福岡市立原中央中学校3年生



『私は私に時間をあげることにした』
レディーダック／著 趙蘭水／訳
SBクリエイティブ

私は、周りの目が気になってしまったり悪い方に考えすぎてしまいよく悩むことがあります。そんな時に読むのがこの本です。この本はそんな悩む人達に、温かい文章と絵で小さな幸せや新しい考え方、ポジティブな思考を教えてください。エッセイ本です。またこの本には作者さん自身の悩みも書かれており共感する事が多いです。その中でも私のお気に入りの言葉があります。それは「私も新芽のように恵みの雨を受けて大きくなるのだと思えば、濡れてもへっちゃらだ」という言葉です。私は何か失敗をした時や落ちこむ時、この言葉で切り替えてポジティブに考えることができます。みなさんもぜひこの本を手にとり自分の言葉を見つけてみてください。



『時間をやく パン屋さん』

おすすめの
相手

小学生の頃の親友

大久保元太（佐賀県）
伊万里市立伊万里中学校3年生



『時間をやくパン屋さん』
キム・ジュヒョン／作
吉原育子／訳 スケラッコ／絵
金の星社

君は覚えているだろうか、小学生の時の俺達の仲良さを。あの頃はいつも一緒にいた。いつも一緒に笑った。最高の親友だった。だが中学生になって話さなくなった。部活やクラスが違うからだろうか。正直言うと俺は寂しい。そんな時、俺はこの本と出会ったんだ。『時間をやくパン屋さん』。この本の中では、覚えておきたい時間をパンに込めると、パンを食べるたびにその時間の味がそっくりよみがえる。こんな事が実際にあったらと思ひ、この本が気に入った。小学生の時に一緒に笑った日々をパンに込めて、お前に食べてほしい。そして、またたくさん話そう。またいっぱい笑い合おう。だって俺たちは「友達」だから。

『かがみの孤城』

おすすめの
相手

不登校で悩んでいる人へ

東口加奈（熊本県）
熊本大学教育学部附属中学校3年生



『かがみの孤城』
辻村深月／著
ポプラ社

私は不登校だった。その頃唯一信頼していた人から勧められた本。題名は『かがみの孤城』。孤城とは敵に囲まれた城のことだ。私は憐れまれたのだろうか。そんな読み始めだったが私は本の言葉を一つもこぼさず読むことができた。いや、こぼせなかった。共感、悲しみ、驚き、感動。心の中で様々な感情が混ざり合う感覚は今でも覚えている。

読み終わった後、自分自身のことを考えた。私が抱いている思ひは誰かに理解してもらえないのかもしれない。この本が、それを証明してくれた。

不登校で悩んでいる人へ。一度でいいからこの本を手にとってほしい。痛いくらい自分の気持ち肯定してくれるだろう。



『本日のメニューは。』

おすすめの
相手 母

甲斐喜世花（宮崎県）
日向市立富島中学校3年生



『本日のメニューは。』
行成薫／著
集英社文庫

「料理のあたたかさ」というものを、私はこの本を読んで改めて知れた気がする。ただの「温かさ」ではない。人と人とを繋いだり懐かしい記憶を思い出したり、心がほっ、とする「あたたかさ」である。

私の母は毎日、忙しい。けれどどんなに疲れていても私達のために美味しい料理を作ってくれる。そんな母に、一息ついてゆっくりしてほしいと思ったときにこの本が思い浮かんだ。私はまだ、母のように料理を作ってあげることができないけれど、この本で母の心を「あたたかく」することができないだろうか。

日頃の感謝の気持ちも込めて、この本を大好きな母に贈りたい。お母さん、いつもありがとう！

『大丈夫じゃないのに大丈夫なふりをした』

おすすめの
相手 一人で悩んでいるあなたへ

東畑茉優（鹿児島県）
指宿市立山川中学校3年生



『大丈夫じゃないのに
大丈夫なふりをした』
クルペウ／著 藤田麗子／訳
ダイヤモンド社

毎日布団やお風呂の中、学校の帰り道に、声を殺して泣いていた。誰にも気付かれないように。悩みを話したら気持ちが溢れてしまう、迷惑をかけてしまう、そう思ったから。そんな時、書店に並べられていたこの本が目が留まった。本の題名がその時の私と同じだったから。この本を読んだ時、心がとても軽くなった。本に書かれた誰かの言葉が心に寄り添い、今まで誰にも言えなかった苦しさを「頑張ったね」と慰めてくれた気がした。心を読まれたみたいだった。

誰だって誰にも言えない悩みはある。だからこそ、自分が壊れてしまう前に、今一人で悩んでいるあなたに、この本を読んで欲しい。きっと、あなたの心の拠り所になってくれる。



『ヘタリアAxis Powers 1巻』

おすすめの
相手 社会科の授業中、
まぶたが重い学生さんへ

上江洲凜香（沖縄県）
沖縄県立球陽中学校3年生



『ヘタリア
Axis Powers (1) Speciale』
日丸屋秀和／著
幻冬舎コミックス

え?! 社会の授業中眠たくなる?! それならぜひ『ヘタリア』を手に取ってみてほしい。この漫画は国の擬人化コメディでその国のお国柄を表した見た目や性格の魅力的なキャラクターが登場する。一度読み始めればページをめくる手は止まらず世界中の文化や歴史、時事ネタをわかりやすく学ぶことができるのだ。この漫画にハマれば社会の授業中の眠気とはおさらば。社会の授業は推し(国)への理解を深められるポイントタイムに変わるから!! 見るだけでうんざりする資料集も宝物になる。それは推し(国)のプロフィール帳だから!! まずは勉強の息抜きに読んでみてほしい。きっと漫画の知識と授業の内容が繋がって「社会科って少し楽しいかも」と思えるはず。

『あなたが誰かを殺した』

おすすめの
相手 国語が苦手な人

星野柊真李（沖縄県）
昭和薬科大学附属中学校3年生



『あなたが誰かを殺した』
東野圭吾／著
講談社

この本はある別荘地で起こった連続殺人事件についてのお話です。逮捕されたのは被害者とは関係のない男。なぜ、被害者たちは殺されたのかを被害者家族とある刑事が解き明かしていくというストーリーです。

私がこの本を国語が苦手な人にすすめたいと思った理由は二つあります。一つ目は目線がよく変わることです。ほとんどの登場人物の目線になるので感情移入がしやすく、感情を読み取りやすいからです。二つ目は読解力を養えるからです。目線がよく変わるので読みづらくなっています。だからこそ、考えて読むようになるので文を読みとく力がつきます。

みなさんもこの本を読んで国語を得意にしませんか。



団体賞 入賞団体一覧

入賞団体の所在地の都道府県コード順、同一都道府県内は団体名の五十音順に掲載しています。

団体賞は、学校、学年、クラス、グループ(学内の図書委員などの有志、学外の図書館での有志、学童クラブなど)による応募に対して、応募数・作品の内容を考慮して表彰するものです。
 ※団体で応募された作品も、個人賞選考の対象となります。

足寄町立螺湾小学校 (北海道)
 札幌市立栄南中学校 (北海道)
 石巻市立石巻小学校 (宮城県)
 江戸川学園取手中学校 (茨城県)
 東海村立東海南中学校 (茨城県)
 川越市立大東西中学校 (埼玉県)
 星野学園小学校 (埼玉県)
 芝浦工業大学柏中学校 (千葉県)
 よみつ子寺子屋 (千葉県)
 青山学院中等部 (東京都)
 荒川区立尾久八幡中学校 (東京都)

金沢大学人間社会学域学校教育学類附属中学校(石川県)
 川辺町立川辺中学校 (岐阜県)
 関市立金竜小学校 (岐阜県)
 牧之原市立坂部小学校 (静岡県)
 近江八幡市立八幡西中学校 (滋賀県)
 京都市立洛北中学校 (京都府)
 立命館小学校 (京都府)
 和泉市立青葉はつが野小学校 (大阪府)
 大阪教育大学附属天王寺小学校 (大阪府)
 清風南海中学校 (大阪府)
 神戸女学院中学校 (兵庫県)
 宝塚市立安倉中学校 (兵庫県)
 姫路市立豊富小中学校 (兵庫県)
 智辯学園和歌山小学校 (和歌山県)
 益田市立益田中学校 (鳥根県)
 盈進中学校 (広島県)

開智日本橋学園中学校 (東京都)
 品川区立伊藤学園 (東京都)
 頌栄女子学院中学校 (東京都)
 昭和女子大学附属昭和小学校 (東京都)
 白百合学園小学校 (東京都)
 世田谷区立三宿中学校 (東京都)
 八王子市立東浅川小学校 (東京都)
 文京区立窪町小学校 (東京都)
 平塚市立岡崎小学校 (神奈川県)
 横浜市立中和田中学校 (神奈川県)
 横浜市立もえぎ野小学校 児童図書委員会 (神奈川県)

英数学館小学校 (広島県)
 近畿大学附属広島中学校東広島校 (広島県)
 広島県立広島中学校 (広島県)
 広島市立瀬野川東中学校 (広島県)
 広島大学附属三原小学校 (広島県)
 福岡教育大学附属小倉中学校 (福岡県)
 雲仙市立愛野中学校 (長崎県)
 みやまの森学園みやまの森学童クラブ (長崎県)
 熊本学園大学付属中学校 (熊本県)
 熊本大学教育学部附属中学校 (熊本県)
 日向市立富島中学校 (宮崎県)
 昭和薬科大学附属中学校 (沖縄県)
 南大東村立南大東小中学校 (沖縄県)
 シンガポール日本語補習授業校 (シンガポール共和国)
 ポストン日本語学校中学校 (アメリカ合衆国)

個人賞 入賞者一覧

入賞者の居住地の都道府県コード順 同一都道府県内は氏名の五十音順に掲載しています。

■小学校1～3年生の部

秋田県 遠山結菜(横手市立旭小学校)
埼玉県 遠藤夏葵(星野学園小学校)
埼玉県 酒井果穂(昭和女子大学附属昭和小学校)
埼玉県 坂井柚咲(星野学園小学校)
千葉県 北林俊恵(千葉市立美浜打瀬小学校)
千葉県 小山村平(市原市立若葉小学校)
東京都 上原悠希(昭和女子大学附属昭和小学校)
東京都 星遥(白百合学園小学校)
東京都 山川めいか(昭和女子大学附属昭和小学校)
福岡県 河合陽咲(小浜市立今富小学校)
岐阜県 片桐莉子(関市立金竜小学校)
岐阜県 三間匠馬(大野町立南小学校)
岐阜県 末松采華(関市立金竜小学校)
静岡県 高田翼太郎(静岡市立長田西小学校)
京都府 市南健悟(奈良学園小学校)
京都府 田代美幸(関西創価小学校)
和歌山県 延與侑良(智辯学園和歌山小学校)
和歌山県 橋本千明(智辯学園和歌山小学校)
鳥根県 鎌田登(山雲市立北陽小学校)

■小学校4～6年生の部

宮城県 及川佳純(石巻市立石巻小学校)
埼玉県 石井咲帆(西武学園文理小学校)
埼玉県 太田想介(川越市立新宿小学校)
埼玉県 佐藤未真(三芳町立藤久保小学校)
千葉県 鈴木祐太郎(市川市立市川小学校)
東京都 相吉澤希武(足立区立北三谷小学校)
東京都 大澤凜々(世田谷区立三軒茶屋小学校)
東京都 加藤旗旗(足立区立千寿桜小学校)
東京都 金井辰樹(八王子市立東浅川小学校)
東京都 慶伊希美(世田谷区立三軒茶屋小学校)
東京都 小林暖(明星小学校)
東京都 須藤葉月(世田谷区立三軒茶屋小学校)
東京都 高木悠人(武蔵野市立桜野小学校)

■中学生の部

北海道 井下田温美(千歳市立千歳中学校)
北海道 板野遥斗(札幌市立栄南中学校)
北海道 岩瀬菜那(立命館慶祥中学校)
北海道 小栗直己(札幌市立礼道中学校)
福島県 菅原結音(福島市立岳陽中学校)
福島県 高橋美衣(福島市立岳陽中学校)
茨城県 田中梨友(東海村立東海南中学校)
茨城県 塚原佳那子(江戸川学園取手中学校)
茨城県 永山結栴(東海村立東海南中学校)
茨城県 若菜瑞生(江戸川学園取手中学校)
埼玉県 下河邊仁菜(頌栄女子学院中学校)
埼玉県 並木明日花(越谷市立武蔵野中学校)
埼玉県 吉村月絆(越谷市立武蔵野中学校)
千葉県 開田蒼右(市川市立第七中学校)
千葉県 杉山結花(流通経済大学付属柏中学校)
千葉県 戸谷校一(市川中学校)
千葉県 中塚千尋(芝浦工業大学柏中学校)
東京都 秋葉筑紫(頌栄女子学院中学校)
東京都 池上惠生(頌栄女子学院中学校)
東京都 稲田愛実(光塩女子学院中等科)
東京都 岡田遼(青山学院中等部)
東京都 岡本華奈(晃華学園中学校)

東京都 越智七水(順天中学校)
東京都 落井良行(都文館中学校)
東京都 三枝陽南(大田区立大森第七中学校)
東京都 溢澤里南(吉祥女子中学校)
東京都 下鳥真音(荒川区立尾久八幡中学校)
東京都 上坊寺条太郎(豊島区立西池袋中学校)
東京都 大東瑞季(頌栄女子学院中学校)
東京都 野津歩花(世田谷区立三宿中学校)
東京都 守屋仁花(開智日本橋学園中学校)
神奈川県 足立凛央(頌栄女子学院中学校)
神奈川県 水書碧海(都文館中学校)
神奈川県 森本翔太(桐蔭学園中等教育学校)
長野県 吉田晴帆(長野市立広徳中学校)
岐阜県 神農はな(川辺町立川辺中学校)
岐阜県 高井菜々美(川辺町立川辺中学校)
静岡県 小西湧悟(静岡市立大里中学校)
静岡県 齊藤のどか(静岡学園中学校)
静岡県 山之口柚希(島田市立六合中学校)
愛知県 藤嶋凜(岡崎市立六ツ美中学校)
滋賀県 内久保愛生(近江八幡市立八幡西中学校)
滋賀県 森岡大貴(MIHO美学院中等教育学校)
京都府 居波明連(神戸女学院中学部)
京都府 篁凪(京都市立洛北中学校)
大阪府 青戸利歩(清風南海中学校)

大阪府 久門敦史(枚方市立杉中学校)
大阪府 下柳清人(関西大倉中学校)
大阪府 中辻希海(清風南海中学校)
兵庫県 穀内柚芽(神戸女学院中学部)
兵庫県 西上小百合(神戸女学院中学部)
兵庫県 福田真央(川西市立川西中学校)
兵庫県 山本明佳(神戸女学院中学部)
鳥根県 三浦来桃(益田市立益田中学校)
広島県 井掛あかり(広島県立広島中学校)
広島県 古川直生(広島市立瀬野川東中学校)
広島県 山口花(近畿大学附属広島中学校東広島校)
愛媛県 舟橋沙優(愛光中学校)
愛媛県 渡森瑛大(愛光中学校)
高知県 里見美咲(高知市立義務教育学校土佐山学舎)
福岡県 金子弘美(福岡教育大学附属小倉中学校)
福岡県 深川颯希(福岡教育大学附属小倉中学校)
福岡県 藤田瑞希(福岡市立原中央中学校)
佐賀県 大久保元太(伊万里市立伊万里中学校)
熊本県 東口加奈(熊本大学教育学部附属中学校)
宮崎県 甲斐喜世花(日向市立富島中学校)
鹿児島県 東畑茉優(指宿市立山川中学校)
沖縄県 上江洲凜香(沖縄県立球陽中学校)
沖縄県 星野終真季(昭和薬科大学附属中学校)

令和6年度募集概要

以下は令和6年度募集に関する内容です。

募集概要

自分のお気に入りの本を誰かにすすめる読書推せん文を募集

応募資格

小中学生

募集期間

2024年5月1日(水)～9月13日(金)消印有効

用紙・字数

専用原稿用紙に250～300字程度

対象図書

日本語で書かれた図書(図鑑や写真集、漫画もOK)

表彰

個人賞

表彰状、図書カード10,000円分
小学校1～3年生／小学校4～6年生／中学生
(部門ごとに数十名、100名程度を予定)

団体賞

表彰状、図書カード100,000円分 (50団体程度を予定)

選考委員

五十音順・敬称略

大滝一登 (安田女子大学 教授)

大塚真祐子 (文筆家・元書店員)

久米絵美里 (児童文学作家)

佐久間亜紀 (慶應義塾大学 教授)

中馬淳 (公益財団法人 博報堂教育財団 常務理事)

ひきたよしあき (作家・コラムニスト)

山元隆春 (広島大学 教授) 選考委員長

本コンクールの特徴

- 選考では文章テクニックより、子どもの本への熱い気持ち、伝えたい気持ちを重視します。
- 250～300字程度の少ない字数の作文コンクールです。
- 個人100名程度、団体50団体程度の幅広い入賞を予定。入賞者を等しく、表彰いたします。

お気に入りの一冊を あなたへ 読書推せん文コンクール

団体応募

応募総数 **524** 団体

個人応募

応募総数 **37,818** 作品



第4回「お気に入りの一冊をあなたへ 読書推せん文コンクール」は、
7名の委員によって厳正に選考した結果、
団体賞53団体、個人賞126名の入賞を決定しました。
全国からたくさんのご応募、誠にありがとうございました。

コンクール開催趣旨

子どもが本を「新たに読んでみる」「もう一度読み直す」きっかけをつくり、
読書を通しての感動、楽しさを体験させ、読書への関心喚起、習慣化を図ります。

好きな本を自分が読んでほしい特定の人にすすめる文章を書くことによって、
自分の感動を言語化し、思いを伝えるための考える力、表現力を育みます。

主催：公益財団法人 博報堂教育財団

後援：公益社団法人 全国学校図書館協議会 協力：一般財団法人 出版文化産業振興財団

令和 7 年 3 月 15 日発行

公益財団法人 博報堂教育財団
<https://www.hakuhodofoundation.or.jp/>

本書掲載の記事、写真等の無断転載を禁じます。

応募いただいた作品から、厳正な選考を経て入賞作品を選出しました。
応募作品の対象図書が選考委員の著作である場合、選考委員が対象図書の出版社に所属している場合、
対象図書の販売支援をする立場にある場合等は、該当する選考委員は当該作品を直接評価しません。

公益財団法人 **博報堂教育財団**

Hakuhodo Foundation

第5回 お気に入りの一冊をあなたへ 読書推せん文コンクール

募集期間：2025年5月1日～9月12日消印有効

当コンクールについての最新情報は、ホームページでご確認ください。

<https://www.hakuhodofoundation.or.jp/okiniiri/>

